



# RDX-E700

DVDレシーバー



ヤマハDVDレシーバーRDX-E700をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

**取扱説明書**

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

## 警告

### 電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。  
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がる。 ● 異常に高温になる。
  - 内部に水や異物が混入した。 ● 煙が出る。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
  - ステーパーで止めない。 ● 加工をしない。
  - 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。  
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

### 電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

### 分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。  
修理・調整は販売店にご依頼ください。

## 設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
  - 加湿器を過度にきかせた部屋
  - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。(RDX-E700の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上の、スペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

## 使用上の注意



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。

手を挟まれないよう注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

## 手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

# ⚠ 注意

## 電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

## 電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。  
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。  
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

## 設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。  
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。  
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。  
工事には、技術と経験が必要です。

## 移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。  
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

## 使用上の注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。  
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。  
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。  
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。  
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。  
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。  
レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。



禁止

業務用機器とは接続しない。  
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

## 手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。  
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。  
また接点復活剤を使用しない。  
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。  
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

# 目次

## はじめに

特長 .....	2
本書について .....	2
付属品 .....	2
各部の名称とはたらき .....	3
フロントパネル .....	3
ディスプレイ .....	4
リモコン .....	5

## 準備と接続

スピーカーを接続する .....	7
スピーカーケーブルを接続する .....	8
サブウーファーを接続する .....	8
テレビを接続する .....	9
アンテナを接続する .....	10
AM ループアンテナを接続する .....	10
FM 簡易アンテナを接続する .....	10
その他の機器を接続する .....	11
CD レコーダーまたは MD レコーダーを接続する .....	11
電源コードを接続する .....	12
リモコンに電池を入れる .....	13
リモコンを使用する .....	13

## 基本操作

電源モードをオン/スタンバイにする .....	14
入力を切り替える .....	14
音量を調節する .....	15
一時的に消音する .....	15
時計を調節する .....	15
タイマーを設定する .....	16
スリープタイマーを設定する .....	17
ディスプレイの明るさを調節する (ディーマーモード) .....	18
テレビ画面で DVD の設定を変更する (オンスクリーンメニュー) .....	19
オンスクリーンメニューを使用する .....	19
オンスクリーンメニュー一覧 .....	20
基本的な再生と対応ディスクについて .....	21
基本的な再生操作 .....	22
便利な再生操作 .....	23
好きな順序で再生する (プログラム再生) .....	23
順不同に再生する (ランダム再生) .....	24
繰り返し再生する (リピート再生) .....	25
ディスクメニューを操作する (DVD メニュー/ビデオ CD プレイバック コントロール) .....	27
音声/字幕言語/アングルを選択する .....	28
音声/字幕言語を選択する .....	28
アングルを選択する .....	28
映像の一部を拡大表示する (ズーム) .....	29

GUI (グラフィカル・ユーザー・ インターフェイス) を使う .....	30
高画質な映像を楽しむ (プログレッシブ) .....	31
マルチメディアディスクを楽しむ .....	32
放送局を選局する .....	33
自動選局する .....	33
手動選局する .....	33
放送局を登録する (プリセット) .....	34
放送局を自動登録する (自動プリセット) .....	34
放送局を手動登録する (手動プリセット) .....	34
登録した放送局を選局する (プリセット選局) .....	35

## 応用操作

外部機器の音声を本機で再生する .....	36
テレビの音声を本機で楽しむ .....	36
その他の機器を本機で楽しむ .....	36
外部 AV 機器で録画/録音する .....	37
本機で再生している音声を 録音する .....	37
サウンドを調節する .....	38
サウンド設定を調節する .....	38
ナイトリスニングモード .....	39
本機のリモコンで外部機器を操作する .....	40
リモコンコードを登録する .....	40
操作可能な機能 .....	41

## その他の情報

故障かな?と思ったら .....	42
全般 .....	42
リモコンの操作 .....	43
ディスクの再生 .....	43
放送局の受信 .....	45
ディスクについて .....	46
ディスクに関するご注意 .....	47
ディスクの取扱いについて .....	47
用語解説 .....	48
音声フォーマット .....	48
オーディオ関連 .....	48
ビデオ関連 .....	49
著作権とロゴマーク .....	49
主な仕様 .....	50

## 特長

- ・ DVD、MP3 CD、CD-R、CD-RW、ビデオ CD、オーディオ CD 対応
- ・ MULTI JOG タイヤルによる簡単操作
- ・ 多機能リモコン付属
- ・ オンスクリーンメニュー機能搭載
- ・ デジタル出力端子搭載
- ・ D1/D2 端子搭載

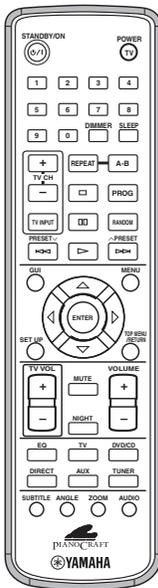
## 本書について

- ・ 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- ・ 「ご注意」では操作・設定を行うときに留意すべき事項、※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- ・ 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

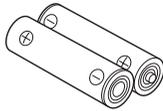
## 付属品

梱包箱を開封後、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

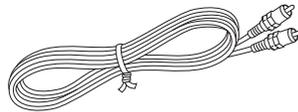
リモコン



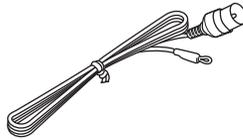
単3電池（2本）



ビデオ用ピンケーブル  
(1.5 m)



FM 簡易アンテナ

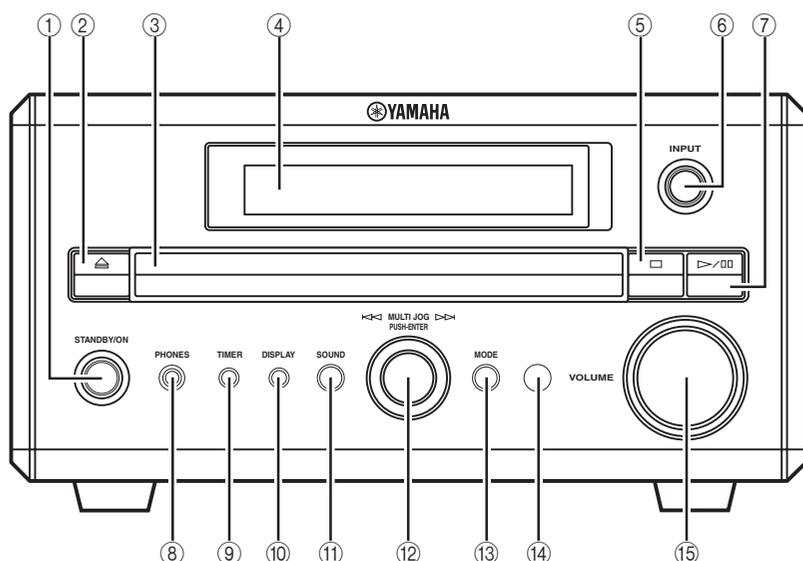


AM ループアンテナ



# 各部の名称とはたらき

## フロントパネル



スタンバイ オン  
① **STANDBY/ON** キー

電源モードを切り替えます。(14 ページ)

電源モードがスタンバイのときにも少量の電力を消費します。

② **△** キー

ディスクトレイを開閉します。本機の電源モードがスタンバイになっているときに、**△** キーを押すと電源モードがオンになり、入力ソースが DVD/CD に切り替わります。

③ **ディスクトレイ**

ディスクをセットします。

④ **ディスプレイ**

再生状態や設定が表示されます。(4 ページ)

⑤ **□** キー

ディスクの再生を停止します。

インプット  
⑥ **INPUT** キー

本機の入力を選択します。

⑦ **▷/⏸** キー

ディスクの再生を開始または一時停止します。

フォンス  
⑧ **PHONES** 端子

ヘッドホンを接続します。

タイマー  
⑨ **TIMER** キー

タイマー機能またはスリープ機能を設定するときに使用します。

ディスプレイ  
⑩ **DISPLAY** キー

トラックやチャプターの経過時間などの再生状態や設定を表示します。

サウンド  
⑪ **SOUND** キー

調節するサウンド設定を切り替えます。

マルチ ジョグ  
⑫ **MULTI JOG** ダイアル

チューナーモード：ラジオの周波数の調節や、さまざまな設定をするときに使用します。  
DVD/CD モード：前/次のチャプターまたはトラックにスキップします。

モード  
⑬ **MODE** キー

MULTI JOG ダイアルの操作モードを切り替えます。

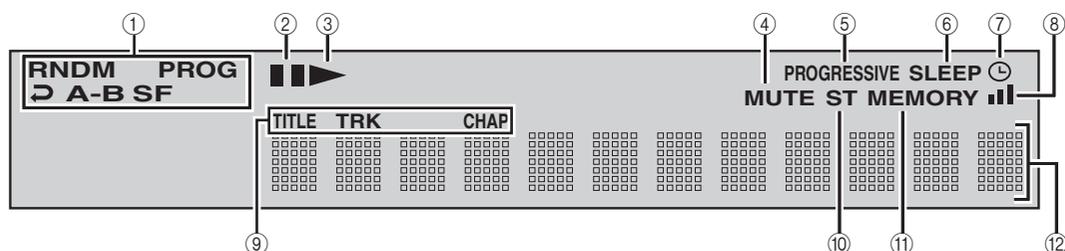
⑭ **リモコン受光窓**

リモコンの信号を受信します。

ボリューム  
⑮ **VOLUME**

音量を調節します。

## ディスプレイ



## ① 再生モード表示

再生モードに応じて点灯します。

## ② ■■ インジケータ

ディスク再生を一時停止しているときに点灯します。

## ③ 再生表示

ディスクの再生しているときに点灯します。

④ <sup>ミュート</sup> MUTE 表示

消音しているときに点灯します。

⑤ <sup>プログレッシブ</sup> PROGRESSIVE 表示

プログレッシブ映像出力時に点灯します。

⑥ <sup>スリープ</sup> SLEEP 表示

スリープタイマー使用時に点灯します。

⑦ <sup>時計</sup> インジケータ

タイマー機能使用時に点灯します。

## ⑧ ■■■ インジケータ

電波の強い放送局を受信したときに点灯します。

## ⑨ ディスプレイモードインジケータ

メインディスプレイに表示されている情報の種類が点灯します。

⑩ <sup>ステレオ</sup> ST インジケータ

自動選局または自動登録を行っているときに、電波の強いFMステレオ放送を受信すると点灯します。

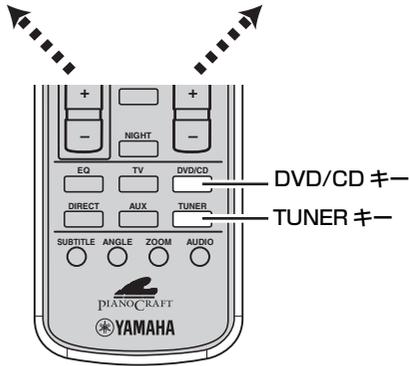
⑪ <sup>メモリー</sup> MEMORY インジケータ

FM / AM 放送局を登録しているときに点滅します。

## ⑫ メインディスプレイ

タイトル / チャプター / トラック番号や経過時間などさまざまな情報が表示されます。

# リモコン



リモコンには DVD/CD モードと TUNER モードの 2つのモードがあります。再生するソースに応じて切り替えます。

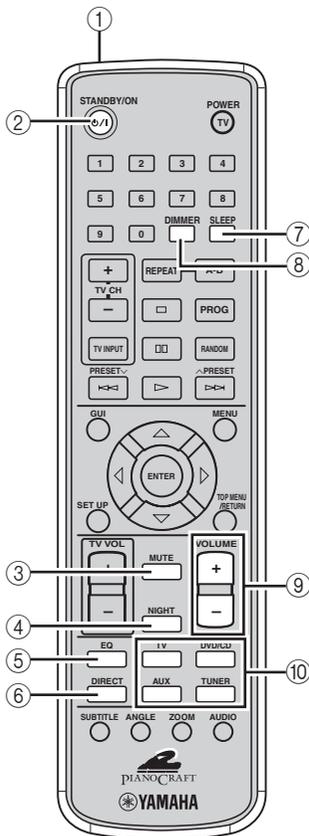
## 入力モードを切り替えるには：

- ・ **DVD/CD モード**：DVD/CD キーを押します。
- ・ **TUNER モード**：TUNER キーを押します。  
TUNER モード選択時のリモコン操作については「登録した放送局を選局する（プリセット選局）」（35 ページ）をご参照ください。



本機のリモコンで本機に接続したテレビやその他の機器を操作することもできます。詳しくは「本機のリモコンで外部機器を操作する」（40 ページ）をご参照ください。

## ■ 共通の機能



## 共通のキー操作

### ① 赤外線送信部

リモコン操作の赤外線信号を送信します。

### ② <sup>スタンバイ</sup> <sup>オン</sup> STANDBY/ON (⏻/⏻) キー

本機の電源モード（スタンバイ/オン）を切り替えます。（14 ページ）

### ③ <sup>ミュート</sup> MUTE キー

消音します。消音を解除するには、再度 MUTE キーを押します。

### ④ <sup>ナイト</sup> NIGHT キー

ナイトリスニングモードのオン/オフを切り替えます。（39 ページ）

### ⑤ <sup>イコライザー</sup> EQ キー

イコライザーモードを切り替えます。

### ⑥ <sup>ダイレクト</sup> DIRECT キー

ダイレクト機能のオン/オフを切り替えます

### ⑦ <sup>スリープ</sup> SLEEP キー

スリープタイマーを設定します。（17 ページ）

### ⑧ <sup>ディマー</sup> DIMMER キー

ディスプレイの明るさを調節します。（18 ページ）

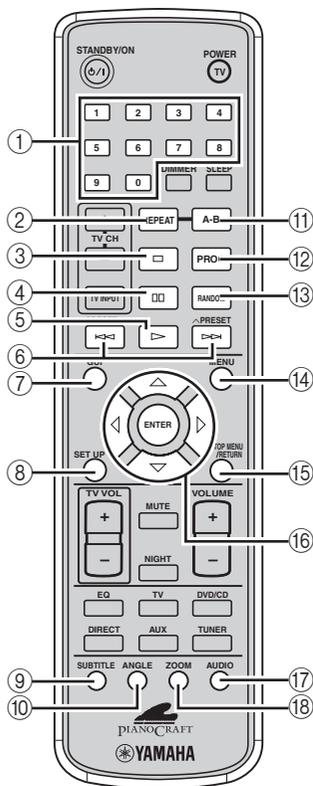
### ⑨ <sup>ボリューム</sup> VOLUME +/- キー

音量を調節します。

### ⑩ 入力選択キー

本機の入力を選択します。

## ■ DVD/CD モード



以下のキー操作は DVD/CD モードに設定したときの操作です。

- ① **数字キー (1 ~ 9、0)**  
数字を入力するときに使用します。
- ② **リピート REPEAT キー**  
リピート再生を設定します。(25 ページ)
- ③ **□ キー**  
ディスクの再生を停止します。
- ④ **⏏ キー**  
ディスクの再生を一時停止します。
- ⑤ **▶ キー**  
ディスクを再生します。
- ⑥ **⏮、⏭ キー**  
再生中のトラックまたは次のトラックの開始位置にスキップします。

- ⑦ **GUI キー**  
テレビ画面にトラックやチャプターの経過時間など再生状態や設定を表示します。

- ⑧ **セット アップ SET UP キー**  
テレビ画面にオンスクリーンメニューを表示します。(19 ページ)

- ⑨ **サブタイトル SUBTITLE キー**  
字幕言語の選択をします。(28 ページ)

- ⑩ **アングル ANGLE キー**  
ディスクアングル (表示角度) を切り替えます。(28 ページ)

- ⑪ **A-B キー**  
A-B リピートを設定します。(26 ページ)

- ⑫ **プログラム PROG キー**  
プログラム再生を設定します。(23 ページ)

- ⑬ **ランダム RANDOM キー**  
ランダム (順不同) 再生を設定します。(24 ページ)

- ⑭ **メニュー MENU キー**  
テレビ画面に DVD メニューを表示します。(27 ページ)

- ⑮ **トップ メニュー リターン TOP MENU/RETURN キー**  
DVD メニューで前の画面にもどります。(27 ページ)

- ⑯ **△、▽、◀、▶、ENTER キー**  
オンスクリーンメニューなどの設定に使用します。(19 ページ)

- ⑰ **オーディオ AUDIO キー**  
音声言語を切り替えます。(28 ページ)

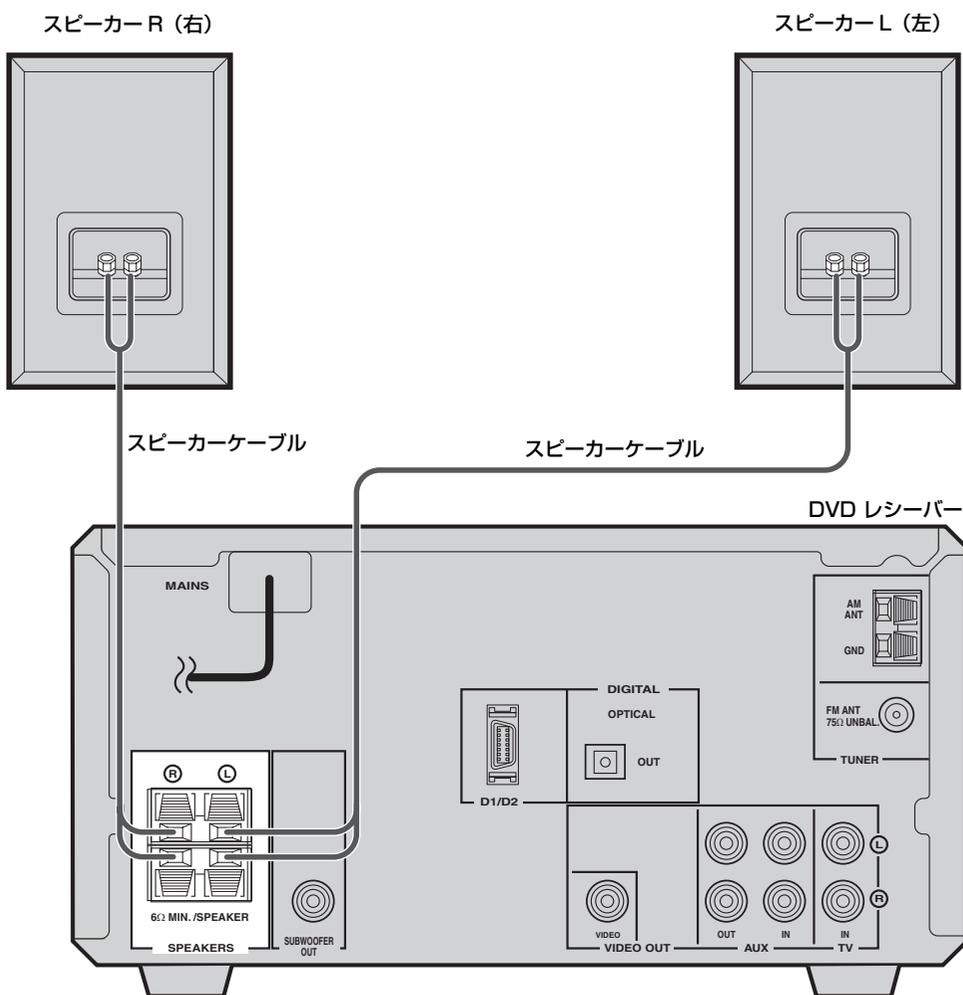
- ⑱ **ズーム ZOOM キー**  
映像の一部を拡大します。(29 ページ)

# スピーカーを接続する

スピーカーを本機に接続します。ご使用のスピーカーに付属している取扱説明書もご参照ください。

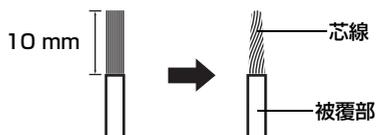
## ご注意

- ・すべてのケーブルを接続がするまで、本機の電源コードは接続しないでください。
- ・端子の左右 (L, R) や、極性 (+, -) を確認して正しく接続してください。間違えて接続すると音が不自然になったり、低音が出なくなったりします。また、接続が不十分だと音がまったく出なくなります。
- ・スピーカーの芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触することのないようご注意ください。本機およびスピーカーを破損する原因となります。
- ・スピーカーは、インピーダンスが  $6 \Omega$  以上のものをお使いください。
- ・スピーカーは防磁型スピーカーをお使いください。防磁型以外のスピーカーをお使いになりますと、テレビやモニターの映像が乱れることがあります。防磁型スピーカーをお使いの場合でも画像が乱れる場合は、テレビとスピーカーを離して設置してください。

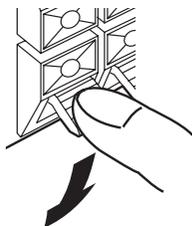


## スピーカーケーブルを接続する

- 1 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を、10 mm ぐらいはがし、芯線をしっかりとよじります。

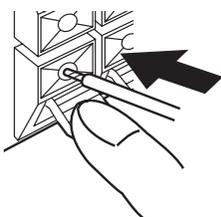


- 2 接続する SPEAKERS 端子のレバーを押します。



赤：プラス（+）  
黒：マイナス（-）

- 3 SPEAKERS 端子の穴にスピーカーケーブルの芯線を差し込み、指を離してレバーを戻します。



赤：プラス（+）  
黒：マイナス（-）

### ■ スピーカーケーブルについて

スピーカーケーブルは2本のケーブルからなり、そのうち1本は極性を区別するために色や形状を変えてあります。

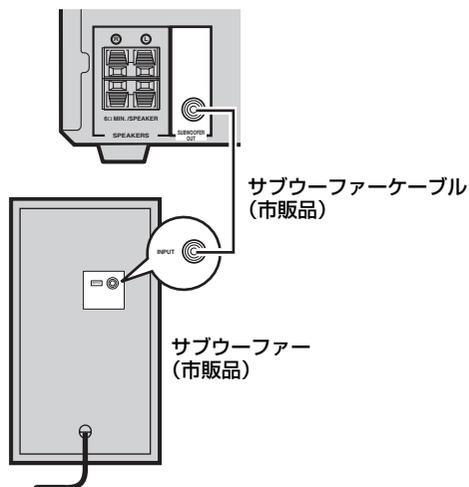
一方のケーブルを本機とスピーカーの「+（プラス、赤）」へ、もう一方のケーブルを「-（マイナス、黒）」へ接続してください。

### ご注意

スピーカーケーブルは芯線部分だけを端子の穴に接続してください。ケーブルの被覆部（ビニール）まで差し込むと音が出ないことがあります。

## サブウーファーを接続する

サブウーファーケーブルを使用して、本機の SUBWOOFER OUT 端子とサブウーファーの入力端子を接続します。



### ご注意

- ・接続する前に、本機およびサブウーファーの電源コードが、AC コンセントに接続されていないことをご確認ください。
- ・SUBWOOFER OUT 端子からは、2チャンネルに変換された音声の低域部分が出力されます。

# テレビを接続する

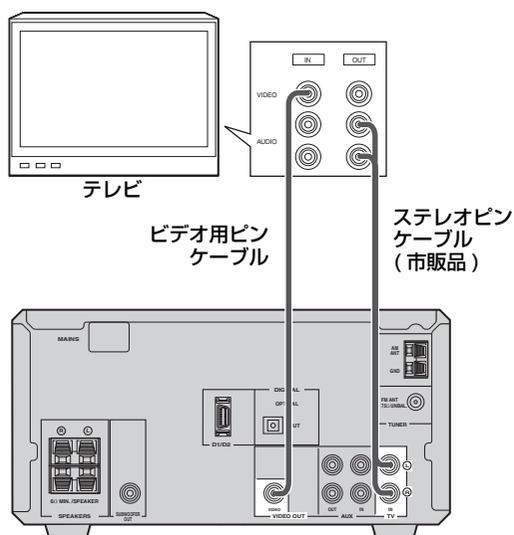
付属のビデオ用ピンケーブルと市販のステレオピンケーブルを使用して本機とテレビを接続します。接続については、端子名等が異なることがあるのでご使用のテレビに付属している取扱説明書もご参照ください。

## ご注意

- ・本機の電源コードはすべての接続が完了してから接続してください。
- ・テレビを本機に接続する際は、テレビの電源をオフにしてください。

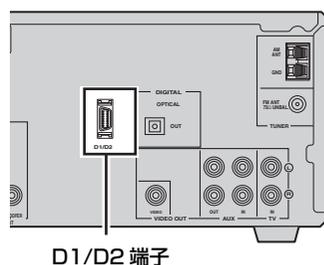
## ■ VIDEO 端子で接続する

- 1 付属のビデオ用ピンケーブルを使用して本機の VIDEO 端子とテレビの映像入力端子を接続します。
- 2 テレビの音声を本機で再生する場合は、市販のステレオピンケーブルを使用して本機の TV IN 端子とテレビの音声出力端子を接続します。



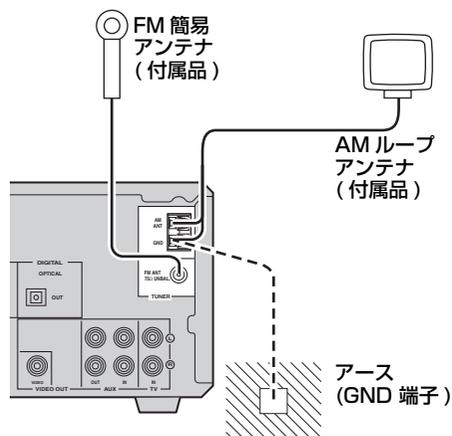
## ■ D1/D2 端子で接続する

D1/D2 端子は輝度信号と2種類の色差信号を分けて伝送するため、VIDEO 端子から出力されるコンポジット信号より美しい映像を再生することができます。また、従来のインターレースよりも高画質なプログレッシブ信号を出力することもできます。プログレッシブ対応のテレビを使用する場合は、市販の D 端子ケーブルを使用して本機の D1/D2 端子とテレビの D 端子を接続します。プログレッシブ信号を出力するときは、テレビ側もプログレッシブ対応していることをご確認ください。プログレッシブの詳しい内容については「高画質な映像を楽しむ (プログレッシブ)」(31 ページ) をご参照ください。



# アンテナを接続する

本機で FM 放送 / AM 放送を受信するには、FM/AM アンテナを本機に接続する必要があります。本機には FM 簡易アンテナおよび AM ループアンテナが付属していますので、通常はこれらのアンテナをご使用ください。付属のアンテナでうまく受信ができない場合は、別売りの屋外アンテナをご使用ください。屋外アンテナの入手方法については、お近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。



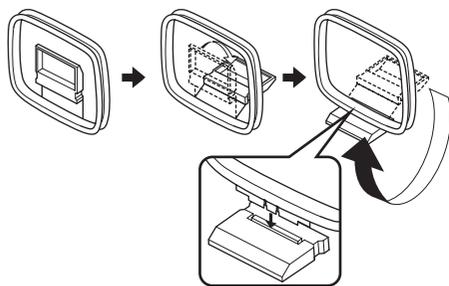
## ■ アース (GND) 端子について

GND 端子は安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減することができます。アースは市販のアース棒が銅版に被覆線を接続し、湿気が多い地中に埋めてください。

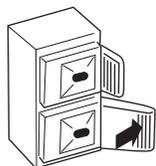
## AM ループアンテナを接続する

### 1 AM ループアンテナを組み立てます。

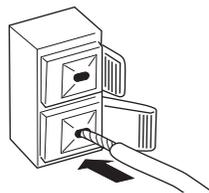
アンテナを壁に設置する場合は、ループアンテナを組み立てる必要ありません。



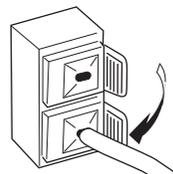
### 2 タブを押します。



### 3 AM ループアンテナの芯線を AM ANT 端子に接続します。



### 4 指を離してタブを戻します。



### 5 手順 2 ~ 4 を繰り返して、AM ループアンテナの芯線を GND 端子に接続します。

### 6 アンテナを本機およびスピーカーケーブルから離れた場所に設置します。

放送局を受信している際に、アンテナを左右に回して受信状態が良いアンテナの角度を探します。



## FM 簡易アンテナを接続する

### 1 FM 簡易アンテナのアンテナコードを FM ANT 端子に接続します。

### 2 アンテナを本機およびスピーカーケーブルから離れた場所に設置します。

### FM 屋外アンテナを接続するときは

市販の L 型コネクタを使って、アンテナの同軸ケーブルを FM ANT 端子に接続します。詳しくは、屋外アンテナをお買い求めの販売店にご相談ください。

## その他の機器を接続する

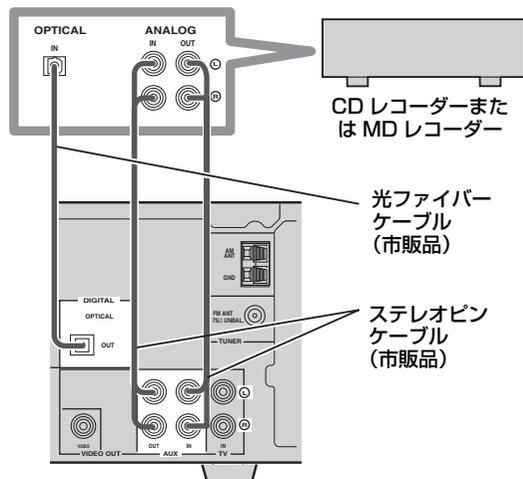
CD レコーダーや MD レコーダーなどの録音機器を本機の端子に接続すると、音声を本機で再生したり、本機で再生している音声を録音することができます。ここでは本機と外部機器の接続例を説明します。なお、外部機器の機能については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

### CD レコーダーまたは MD レコーダーを接続する（デジタル音声）

- 1 光ファイバーケーブルを使用して、本機の DIGITAL OPTICAL OUT 端子と CD レコーダーまたは MD レコーダーの光デジタル入力端子を接続します。
- 2 ステレオピンケーブルを使用して、本機の AUX OUT 端子とレコーダーのアナログ入力端子を接続します。
- 3 本機の AUX IN 端子とレコーダーのアナログ出力端子を接続します。



本機のチューナーの音声は DIGITAL OPTICAL OUT 端子からは出力されません。FM 放送や AM 放送を録音する場合は市販のステレオピンケーブルを使用して、本機の AUX OUT 端子とレコーダーのアナログ入力端子を接続し、アナログ録音してください。



### ご注意

- ・本機の電源コードはすべてのケーブル接続が完了してから接続してください。
- ・外部機器を本機に接続するときには、各機器の電源をオフにしてください。

### ■ AUX 端子について

- ・ 同じ名前の端子の入力と出力は同時に機能しません。本機の場合、AUX IN L/R 端子に入力されている信号を AUX OUT L/R 出力端子から出力することはできません。
- ・ 本機のデジタル信号回路とアナログ信号回路は独立しています。アナログ信号はアナログ出力端子からのみ出力されます。

### ■ DIGITAL 端子について

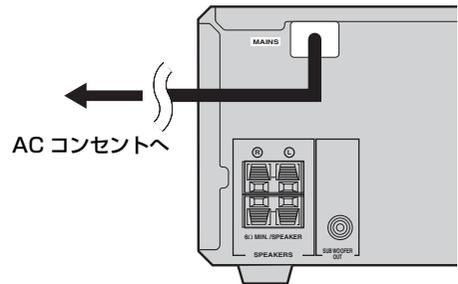
- ・ 本機のデジタル端子は PCM、ドルビーデジタル、DTS 信号方式に対応しています。
- ・ 本機のデジタル端子は EIAJ 規格に準拠しています。デジタル接続で外部機器を接続する際は、EIAJ 規格に準拠した光ファイバーケーブルをご使用ください。



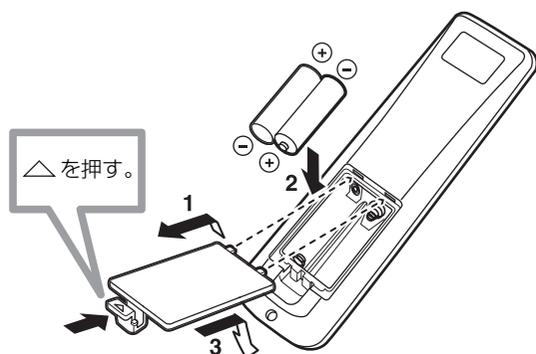
本機は DTS 信号をデジタル出力できます。DTS フォーマットで記録されたディスクを再生するには、DTS デコーダーを搭載した外部機器のデジタル入力端子と本機の DIGITAL OPTICAL OUT 端子を接続します。

## 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、本機とサブウーファー（市販品）の電源コードをコンセントに接続します。



## リモコンに電池を入れる



- 1 バッテリーカバーの△マークを押しながら、カバーをリモコンから取り外します。
- 2 付属の単3乾電池(2本)を、電池ケースに挿入します。  
電池の向き(+/-極性)を正しく挿入してください。
- 3 バッテリーカバーをリモコンに装着します。

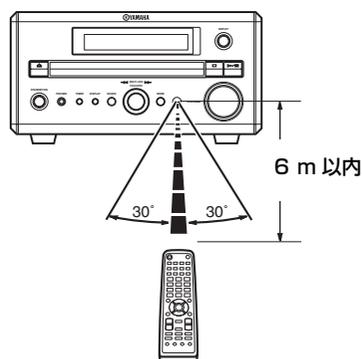
### ■ リモコンの電池を交換する

リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。

#### ご注意

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・種類の異なる電池(アルカリとマンガンなど)を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性質の異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・使い切った電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液漏れの原因となります。
- ・使い切った電池は地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。
- ・電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に触れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
- ・リモコンから電池を取り出したら2分以内に新しい電池を挿入してください。これ以上の時間が経過すると、リモコンのメモリー内容が消去されます。

## リモコンを使用する

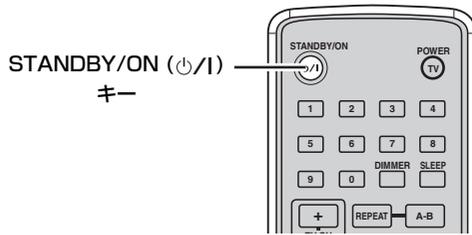


リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光窓(3ページ)に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から6m以内で正面から左右に30度以内です。

#### ご注意

- ・リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- ・リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- ・リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
  - 気温・湿度が高い場所(ヒーターの近くや風呂場など)
  - 極端に気温が低い場所
  - ほこりっぽい場所

## 電源モードをオン／スタンバイにする



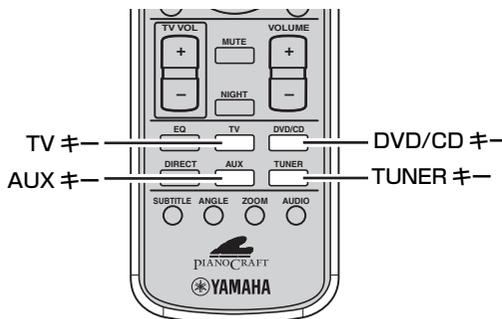
STANDBY/ON キーを押します。  
再度 STANDBY/ON キーを押すと、本機の電源モードがスタンバイ（待機）に切り替わります。



スタンバイ時には少量の電力を消費します。また、本機はエコスタンバイモード機能を備えています。本機をエコスタンバイモードに切り替えると、スタンバイ時のディスプレイの表示（時計表示）がオフになります。エコスタンバイモードに切り替えるには、スタンバイ時に本機のDISPLAY キーを押します。解除するには、再度本機のDISPLAY キーを押します。

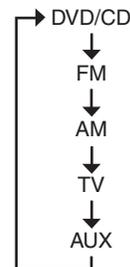
## 入力を切り替える

テレビ、スピーカー、アンテナ、その他の機器を本機に接続後、以下の手順で本機の入力を切り替えて、視聴したい音声／映像を選択します。接続方法については（7～12 ページ）をご参照ください。



### ■ 本機のフロントパネルの INPUT キーを使用して入力ソースを選択します

INPUT キーを繰り返し押します。  
INPUT キーを押すたびに入力ソースが以下のように切り替わります。



目的に応じて下記の手順を実行します。

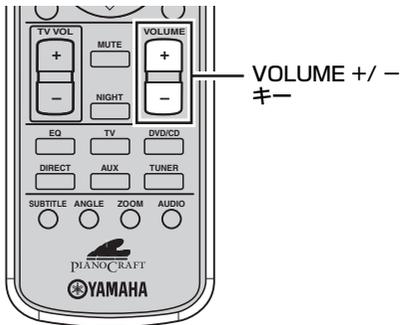
入力を DVD/CD に切り替えるには：  
DVD/CD キーを押します。

入力を本機に接続した外部機器に切り替えるには：  
AUX キーを押します。

入力を TV に切り替えるには：  
TV キーを押します。

入力をチューナー（AM/FM ラジオ）に切り替えるには：  
TUNER キーを押します。  
TUNER キーを押すたびに AM 放送と FM 放送が切り替わります。

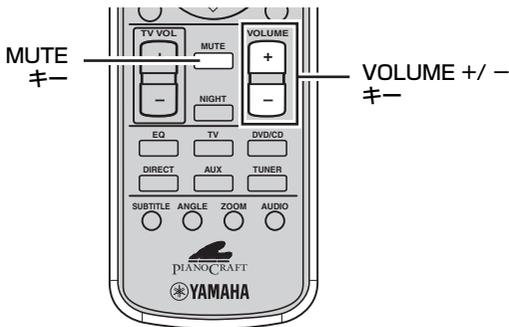
## 音量を調節する



音量を上げるには VOLUME + キー、下げるには VOLUME - キーを押します。

VOLUME +/- キー

## 一時的に消音する



MUTE キー

VOLUME +/- キー

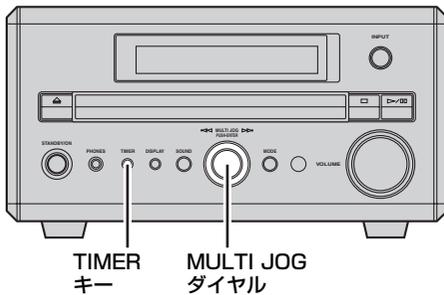
MUTE キーを押します。

消音を解除してもとの音量に戻すには、MUTE キーを再度押すか VOLUME +/- キーを押します。

基本操作

## 時計を調節する

本機のディスプレイに表示される時計を調節します。



TIMER キー

MULTI JOG ダイアル

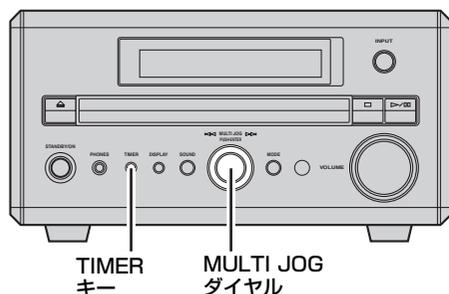
- 1 本機の TIMER キーを押して「TIME」を選択します。MULTI JOG ダイアルを押します。
- 2 MULTI JOG ダイアルを回して、「時」を設定し、MULTI JOG ダイアルを押します。
- 3 MULTI JOG ダイアルを回して、「分」を設定し、MULTI JOG ダイアルを押します。
- 4 再度 MULTI JOG ダイアルを押して決定します。

### ご注意

- ・タイマーを設定する前に時計を調節してください。
- ・1週間以上電源コンセントを抜いたままにしておくと、本機のメモリー内容が消えてしまうことがあります。この場合は、再度時計を調節してください。

# タイマーを設定する

タイマー機能を設定すると、指定した開始時刻に自動的に電源モードがオンになり、あらかじめ指定したソースの再生が始まります。また、指定した再生時間が経過すると自動的に電源モードがスタンバイになります。



- 1 本機の **TIMER** キーを押して「**TIMER**」を選択し、**MULTI JOG** ダイヤルを押します。
- 2 **MULTI JOG** ダイヤルを時計回りに回して「**TIMER ON**」を選択し、**MULTI JOG** ダイヤルを押します。  
現在のタイマー設定が表示されます。
- 3 **MULTI JOG** ダイヤルを回して再生を開始する時刻を入力します。**MULTI JOG** ダイヤルを押して決定します。
- 4 **MULTI JOG** ダイヤルを回して再生したいソースを選択し、**MULTI JOG** ダイヤルを押して決定します。  
DVD または CD を再生する場合は「**DVD**」を選択し、AM ラジオまたは FM ラジオを受信する場合は「**TUNER**」を選択します。
- 5 **MULTI JOG** ダイヤルを回して再生時間を入力します。**MULTI JOG** ダイヤルを押します。  
30 分から 90 分の間で、10 分間隔で再生時間を設定することができます。

## ご注意

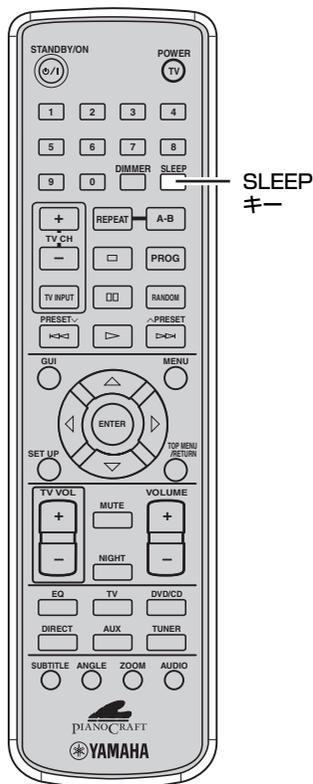
- ・タイマーを設定する前に時計を調節してください。
- ・タイマー機能は、本機に接続した外部機器の電源モードを切り替えることはできません。
- ・タイマー機能を使用して AM または FM 放送を受信する場合は、最後に設定されていた放送局が選択されます。

## ■ タイマーを解除する

手順 2 で「**TIMER OFF**」を選択します。

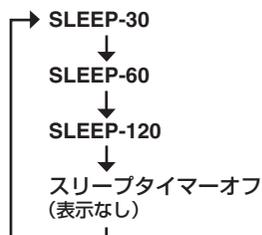
# スリープタイマーを設定する

スリープタイマー機能を使用すると、設定した時間が経過すると自動的に本機の電源モードをスタンバイ（待機）にすることができ、おやすみのときなどに便利です。



**SLEEP キーを押してタイマーを設定する時間を選択します。**

SLEEP キーを押すたびに設定時間が以下のように切り替わります。



スリープタイマーを設定すると本機は自動的にディマーマードに切り替わります。(18 ページ)

## ■ MULTI JOG ダイヤルを使用してスリープタイマーを設定する

本機の TIMER キーを繰り返し押して、「SLEEP」を選択します。ディスプレイに SLEEP インジケータが点灯します。

MULTI JOG ダイヤルを回して、設定時間を入力します。60分までは5分間隔で、60分から120分までは10分間隔で、120分から240分までは30分間隔で設定できます。

## ■ スリープタイマーを解除する

SLEEP キーを繰り返し押して SLEEP インジケータを消灯させます。

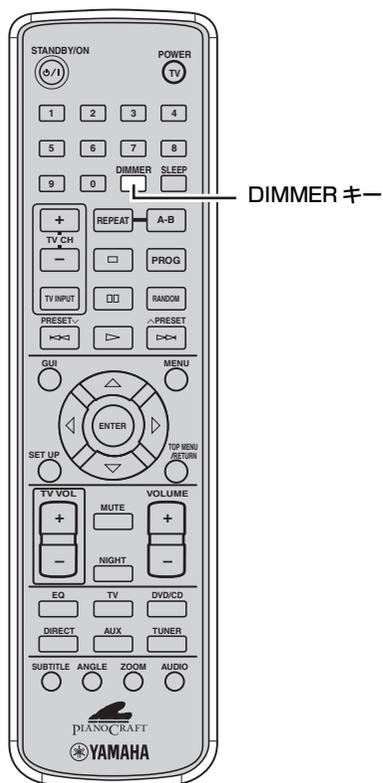
MULTI JOG ダイヤルを使用してスリープタイマーを解除する場合は、本機の TIMER キーを繰り返し押して「SLEEP」を選択し、MULTI JOG ダイヤルを回して「SLEEP - 00」を選択します。

## ご注意

- ・スリープタイマーは本機の電源モードをスタンバイに切り替えます。本機に接続した外部機器の電源モードを切り替えることはできません。
- ・本機の電源モードをスタンバイに切り替えると、設定したスリープタイマーは自動的に解除されます。
- ・スリープタイマーが作動して電源モードがスタンバイになったときの入力や再生モードなどの設定は自動的に本機のメモリーに記憶されます。これにより次に本機の電源モードをオンにした時、スリープタイマー作動時と同じ設定をそのまま引き継ぐことができます。

## ディスプレイの明るさを調節する (ディマーモード)

本機のディスプレイの明るさを調節することができます。



**DIMMER キーを押します。**

DIMMER キーを押すたびにディスプレイの明るさが「DIMMER ON」(暗い)と「DIMMER OFF」(明るい)の二段階に切り替わります。

### ■ ディマーモードを解除する

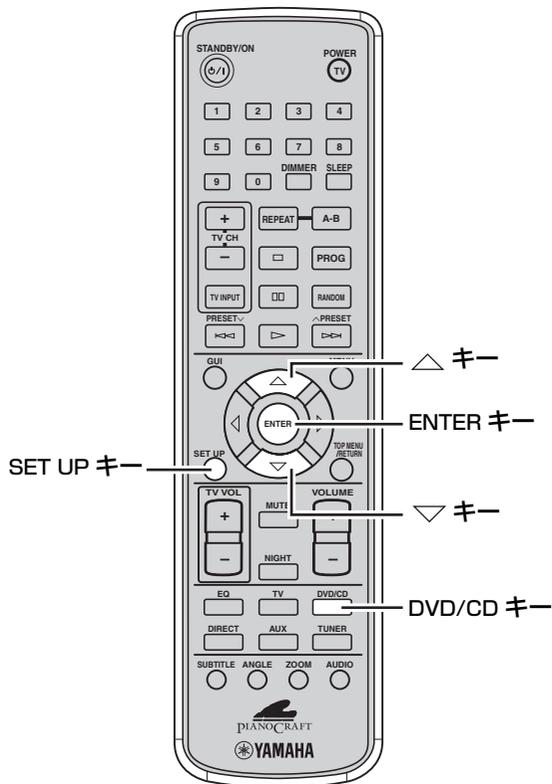
DIMMER キーを押して「DIMMER OFF」(明るい)を選択します。

# テレビ画面で DVD の設定を変更する (オンスクリーンメニュー)

テレビ画面に表示されるメニュー（オンスクリーンメニュー）を使用して、DVDの再生に関するさまざまな設定を変更することができます。オンスクリーンメニューの内容について詳しくはオンスクリーンメニュー一覧（20ページ）をご参照ください。

☀  
オンスクリーンメニューをテレビ画面に表示するためには、本機とテレビを接続する必要があります。接続方法については「テレビを接続する」（9ページ）をご参照ください。

## オンスクリーンメニューを使用する



- 1 DVD/CD キーを押してから、SET UP キーを押してオンスクリーンメニューをテレビ画面に表示します。
- 2 △ / ▽ キーを押してメニュー項目を選択します。ENTER キーを押して決定します。

- S E T U P -	
言語	日本語
字幕	OFF
TV タイプ	4 : 3 PS
TV システム	NTSC
パレンタルロック	LEVEL 7
ダウンサンプリング	OFF
デジタルアウト	RAW
プログレッシブ	OFF
スクリーンセーバー	ON
DivX Code	DISPLAY

- 3 SET UP キーを押してオンスクリーンメニューを終了します。

## オンスクリーンメニュー一覧

メニュー	設定内容
言語	メニューなどの表示に使用する言語を設定します。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語、の中から選択できます。また、DVD ディスク再生時の音声言語もここで選択した言語に設定されます。再生するディスクに選択した言語が収録されていない場合は、ディスクの初期設定の言語が適用されます。
字幕	DVD ディスク再生時に使用する字幕言語を設定します。OFF、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、韓国語、日本語の中から選択できます。再生するディスクに選択した言語が収録されていない場合、ディスクの初期設定の言語が適用されます。
TV タイプ	テレビのサイズに応じて「4:3 PS (パンスキャン)」、 「4:3 LB (レターボックス)」または「16:9」のいずれかに設定します。
TV システム	テレビの映像出力方式に応じて「PAL」、「NTSC」、「オート」のいずれかを設定します。日本国内では通常「NTSC」を選択します。マルチシステムテレビ (PAL/NTSC 両システムに対応) をご使用の場合は「オート」を選択してください。 ※ オンスクリーンメニューを表示中に、GUI キーを押すと映像出力タイプが順に切り替わります。 <b>ご注意</b> ・ 「NTSC」設定時に PAL 方式で記録されたディスクを再生する場合、または「PAL」設定時に NTSC 方式で記録されたディスクを再生する場合、画像が劣化することがあります。 ・ ディスクによっては「オート」の設定で正常に動作しない場合があります。その場合は「NTSC」または「PAL」をお試しください。
パレンタルロック	DVD ディスク再生時の視聴制限レベルを設定します。視聴制限レベルの設けてあるディスクでは、お子様が視聴するのに適さないシーンがある場合、ディスク全体または特定のシーンに視聴制限をかけることができます。視聴制限のかかったディスクを再生するにはパスワード入力が必要になります。 <パスワード> 数字キーを使用してパスワードの入力をし、視聴制限レベルの設定をします。 初期設定では「1234」がパスワードに設定されています。 <レベル> UNLOCK：視聴制限を解除します。 レベル1～7：数値が小さいほど視聴制限は厳しくなります。 ADULT：すべての DVD ディスクを再生します。 <パスワード変更> 数字キーを使用して新しく設定するパスワードを「新パスワード」と「パスワード確認」の両方に入力します。
ダウンサンプリング	リニア PCM の 48 kHz へのダウンサンプリングを「ON」または「OFF」にします。 OFF：本機の DIGITAL OPTICAL OUT から出力される音声信号は、ダウンサンプリングされません。 ON：本機の DIGITAL OPTICAL OUT から出力される音声信号は、48 kHz のリニア PCM にダウンサンプリングされます。
デジタルアウト	DIGITAL OPTICAL OUT 端子から出力される信号を選択します。 RAW：本機が出力できるすべてのデジタル信号を出力します。 PCM：DTS 以外の信号を PCM に変換して出力します。 <b>ご注意</b> DTS フォーマットのディスクを再生しているときは、SPEAKERS 端子および AUX OUT 端子から信号は出力されません。
プログレッシブ	VIDEO 端子の出力される信号の種類を設定します。 OFF：VIDEO 端子からインターレース信号がそのまま出力されます。 ON：VIDEO 端子からプログレッシブ信号が出力されます。 ※ プログレッシブモードを解除するには、オンスクリーンメニューを表示中に ZOOM キーを押します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバー (22 ページ) を有効または無効にします。 ON：スクリーンセーバーを有効にします。 OFF：スクリーンセーバーを無効にします。
DivX Code	DivX® VOD (ビデオ・オンデマンド) サービスを利用してビデオを賃借または購入するための登録コードを表示します。本機で再生するには、ビデオをコンピューターでダウンロードし、CD-R または CD-RW に書き込みます。DivX® VOD からダウンロードしたビデオは、本機でのみ再生可能です。

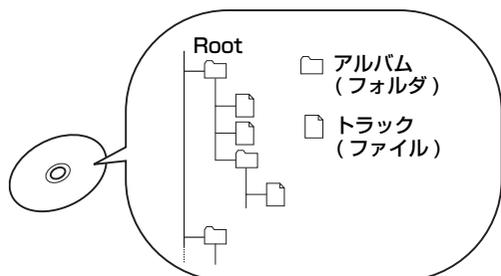
# 基本的な再生と対応ディスクについて

本機では映画や音楽ディスクなどさまざまなディスクをお楽しみいただけますが、ディスクの種類により使用できる機能が異なります。この取扱説明書では、本機の機能が対応するディスクの種類を以下のアイコンで表しています。アイコンの表示がない場合はすべての種類のディスクに対応しています。なお、本機で再生可能なディスクの種類についての詳細やディスクを取り扱う際のご注意については、「ディスクについて」(46 ページ) をご参照ください。

DVD ビデオ	ビデオ CD	音楽 CD
DVD-V	VCD	CD

## MP3、WMA、DivX® および JPEG 画像ディスクについて

本機では CD-R や CD-RW に収録した MP3、WMA、DivX® ファイルを音楽 CD や DVD と同様に再生することができます。この際、下図のようにフォルダはアルバム、ファイルはトラックとして認識されます。また CD-R や CD-RW に収録した JPEG 画像ファイルを表示することも可能です。JPEG 画像ファイルの表示方法については、「マルチメディアディスクを楽しむ」(32 ページ) をご参照ください。



## MP3 とは？

MPEG-1 Audio Layer-3 の略で、音声データを圧縮するフォーマットの一つです。音楽 CD と同じレベルの音質を維持してデータ容量を圧縮することができます。

### ご注意

- ・録音状態により録音順番どおりにトラックが再生されない場合があります。
- ・本機は 32/64/96/128/192/256/320kbps の MP3 ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。
- ・本機は 32/44.1/48kHz のサンプリング周波数に対応しています。

## WMA とは？

Windows Media Audio の略で、MP3 と同様に音声データを圧縮するフォーマットの一つです。MP3 よりも高い圧縮率で、データ容量を圧縮することができます。

## JPEG 画像とは？

静止画像データを圧縮するフォーマットの一つです。若干の画質劣化を許容する(一部のデータを切り捨てる)ことにより、データ容量を約 1/10 ~ 1/100 に圧縮することができます。

### ご注意

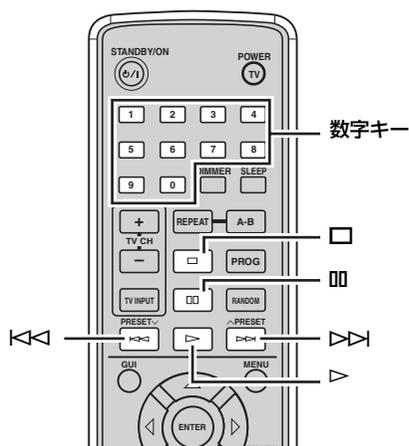
本機はプログレッシブ JPEG 形式には対応していません。

## DivX® とは？

DivX® Networks 社によって開発された動画データを圧縮するフォーマットの一つで、画質劣化を抑えた高い圧縮率でデータ容量を圧縮します。インターネットを使って動画データのダウンロードができます。ダウンロードしたファイルを再生したり、DivX® 形式に変換したりするには、DivX® 対応コーデックが必要になります。

# 基本的な再生操作

本機でディスクを再生する際の基本操作です。これ以外にも本機はさまざまな便利な再生機能を備えています。詳しくは「便利な再生操作」(23 ページ) をご参照ください。



## ■ 再生を開始する

▷ キーを押します。



・ディスクメニューが表示されている状態で、何も操作せずに 180 分経過すると、自動的にスクリーンセーバーが動作します。スクリーンセーバーを解除したい場合は、任意のキーを押します。ディスク再生終了後、何も操作せずに 30 分経過すると、本機の電源モードが自動的にスタンバイに切り替わります。

・ **CD** 再生時に、▷ キーを長押しすると各トラックの最初の 10 秒間程度を順に再生します。通常再生に戻すには再度 ▷ キーを押します。

## ■ 再生を停止する

□ キーを押します。



再生を停止すると、停止した位置が自動的に本機のメモリーに記憶され、「RESUME」というメッセージがディスプレイに表示されます。▷ キーを押すと、その停止位置から再生を開始することができます。

## ■ 再生を一時停止する

◻◻ キーを押します。

通常の再生に戻すには、▷ キーを押します。



ディスク再生終了後または一時停止中、何も操作しない状態で 15 分経過すると、自動的にスクリーンセーバーが動作します。スクリーンセーバーを解除したい場合は、任意のキーを押します。

ディスク再生終了後、何も操作せずに 30 分経過すると、自動的に電源モードがスタンバイに切り替わります。

## ■ 早戻し／早送りする



・早戻しするには◀◀ キーを、早送りするには▶▶ キーを長押しします。

・各キーを押すたびに再生スピードが切り替わります (2 X、4 X、8 X、または 20 X)。通常再生に戻すには ▷ キーを押します。

## ☛ ご注意

ドルビーデジタル信号で記録されたディスクを早戻し／早送りしている間は、スピーカーから音声が出力されません。

## ■ チャプター (トラック) をスキップする

再生中のチャプター (トラック) の開始位置にスキップするには、◀◀ キーを押します。

次のチャプター (トラック) の開始位置にスキップするには、▶▶ キーを押します。

前のチャプター (トラック) の開始位置にスキップするには、◀◀ キーをすばやく 2 回押します。

## ☛ ご注意

ビデオ CD のプレイバックコントロール (27 ページ) を使用している場合は、スキップ機能が正しく動作しない場合があります。

## ■ トラックを指定して再生する

**VCD** **CD**

数字キーを押してトラック番号を入力し、▷ キーを押して決定します。

2 桁の番号を入力するには、まず 10 の位の数字を入力してから、すばやく 1 の位の数字を入力します。

# 便利な再生操作

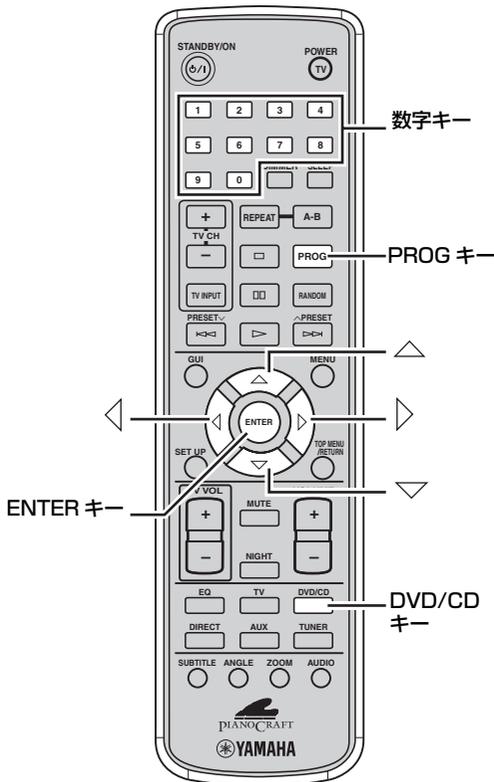
本機はさまざまな便利な再生機能を備えています。基本的な操作については「基本的な再生操作」(22ページ)をご参照ください。

## 好きな順序で再生する CD (プログラム再生)

プログラム再生とはディスク内のトラックまたはチャプターをお好みの順序に再生する機能です。また、プログラム再生の内容(再生順序)を表示したり、プログラム再生の有効/無効を切り替えたり、設定した内容を消去することも可能です。

### ご注意

プログラム再生機能はオンスクリーンメニューを使用して操作します。



- 1 再生を停止中 DVD/CD キーを押してから、PROG キーを押します。  
プログラム入力画面がテレビ画面に表示されます。
- 2 数字キーを押してプログラム再生に登録するトラックまたはタイトル/チャプター番号を入力します。
- 3  $\triangle / \nabla / \leftarrow / \rightarrow$  キーを押して次の入力欄へカーソルを移動します。
- 4 手順2、3を繰り返して、プログラム再生に登録するトラックまたはタイトル/チャプター番号をすべて入力します。  
最大12トラックまで登録できます。
- 5  $\triangle / \nabla / \leftarrow / \rightarrow$  キーを押して「プログラム再生」を選択し、ENTER キーを押します。  
ディスプレイに PROGRAM インジケータが点灯します。プログラム入力画面が消え、プログラム再生が自動的に開始されます。プログラム再生が自動的に開始されない場合は、 $\triangleright$  キーを押してください。

### ご注意

プログラム再生を実行している間は、プレイバックコントロール機能(27ページ)を使用することはできません。



プログラム再生で登録したトラックまたはチャプターをリピート再生することもできます。(25ページ)

## 順不同に再生する (ランダム再生)

本機のランダム再生機能を使用してトラックまたはチャプターを順不同に再生することができます。

### ご注意

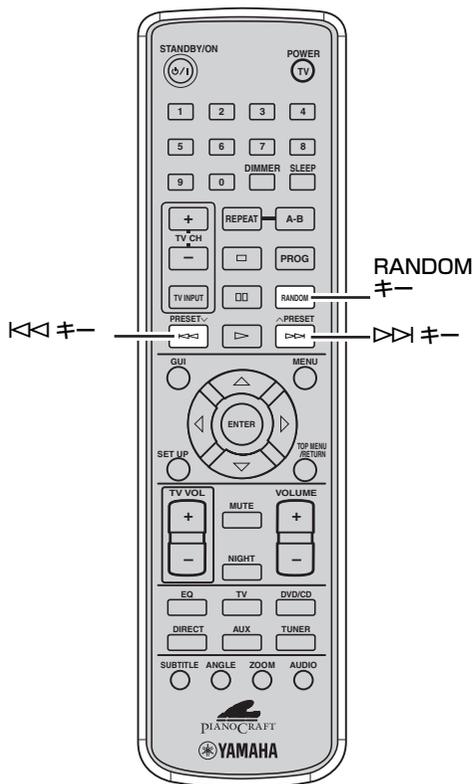
- ・DVD ディスクによってはランダム再生機能が正しく動作しない場合があります。
- ・ランダム再生中に **▶▶** キーを押すと、順不同に選択された次のトラックまたはチャプターが再生されます。**◀◀** キーを押すと、現在再生中のトラックまたはチャプターの開始位置にスキップします。ランダム再生ですべてのトラックまたはチャプターが再生されるまで、同一のトラックまたはチャプターが繰り返し再生されることはありません。

**RANDOM** キーを押します。

ディスプレイに **RANDOM** インジケーターが点灯します。

### ■ ランダム再生を解除する

再度 **RANDOM** キーを押します。

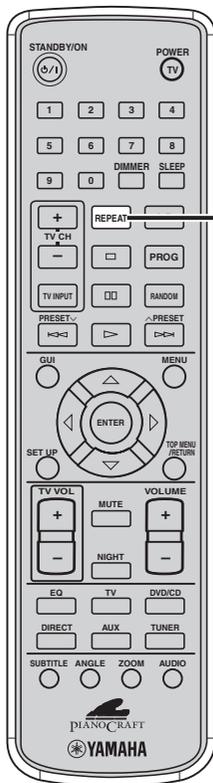


## 繰り返し再生する (リピート再生)

リピート再生を設定すると、チャプター（トラック）／タイトル／ディスク単位で繰り返し再生することができます。また A-B リピート（26 ページ）を設定すると、チャプター（トラック）内の指定した部分のみを繰り返し再生することが可能です。

### ご注意

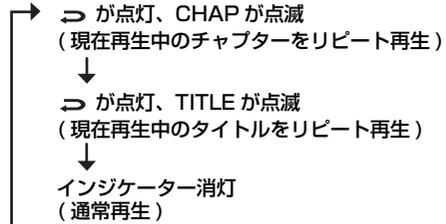
- ・ DVD ビデオによってはリピート再生が正しく機能しない場合があります。
- ・ ビデオ CD のプレイバックコントロール機能（27 ページ）とリピート再生機能は同時に使用できません。



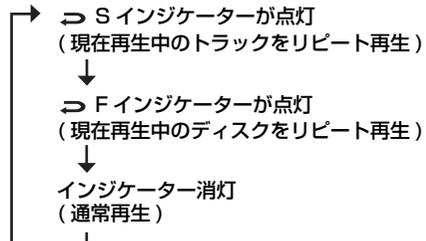
REPEAT  
キー

- 1 リピート再生したいディスク、タイトル、チャプターまたはトラックを再生します。  
詳しくは「基本的な再生操作」(22 ページ) をご参照ください。
- 2 REPEAT キーを繰り返し押します。  
ディスプレイに (リピートインジケータ) が点灯します。  
REPEAT キーを押すたびにディスプレイのインジケータが以下のように切り替わります。

#### DVD-V



#### VCD CD



### ■ リピート再生を解除する

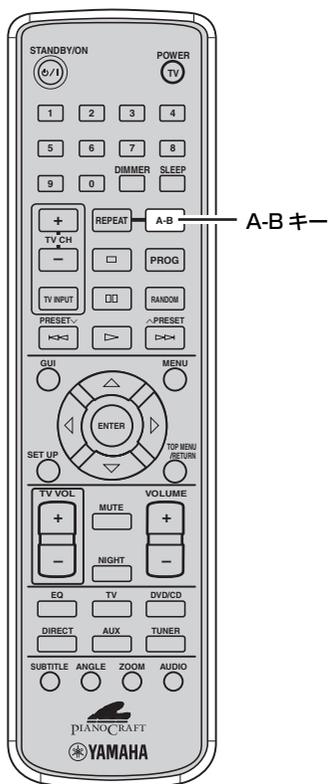
REPEAT キーを繰り返し押して (リピートインジケータ) を消灯させます。

## ■ 指定した部分のみを繰り返し再生する (A-B リピート)

タイトル (トラック) 内で開始位置と終了位置を指定して、その間の部分のみを繰り返し再生することができます。

### ご注意

- ・DVD ビデオによっては A-B リピートが正しく機能しない場合があります。
- ・A-B リピートで指定できる範囲 (開始位置と終了位置) は、1 つのタイトル (トラック) 内に限ります。複数のタイトル (トラック) をまたいで A-B リピートを設定することはできません。



- 1 A-B リピートを設定するタイトル (トラック) を再生します。  
詳しくは「基本的な再生操作」(22 ページ) をご参照ください。
- 2 開始位置として指定する場面で A-B キーを押します。  
ディスプレイに「▶ A」インジケータが点灯します。
- 3 終了位置として指定する場面で A-B キーを再度押します。  
A-B リピート再生が始まります。  
ディスプレイに「▶ A-B」インジケータが点灯します。

## ■ A-B リピート再生を解除する

再度 A-B キーを押して、「▶ A-B」インジケータを消灯させます。

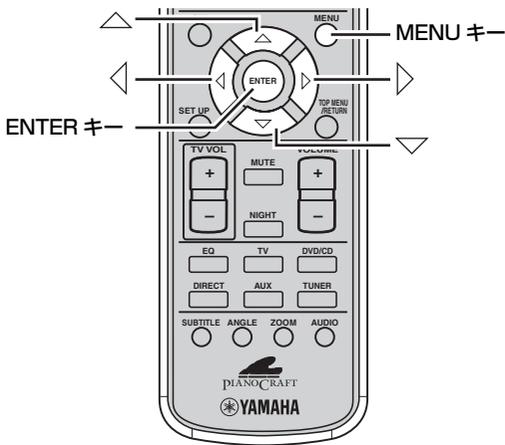
## ディスクメニューを操作する (DVD メニュー／ビデオ CD プレイバックコントロール)

DVD やビデオ CD には、ディスク独自のメニュー (DVD メニュー／ビデオ CD プレイバックコントロール) が収録されています。これらのメニューを使用して各ディスクに備わっているさまざまな機能を操作することができます。

### ご注意

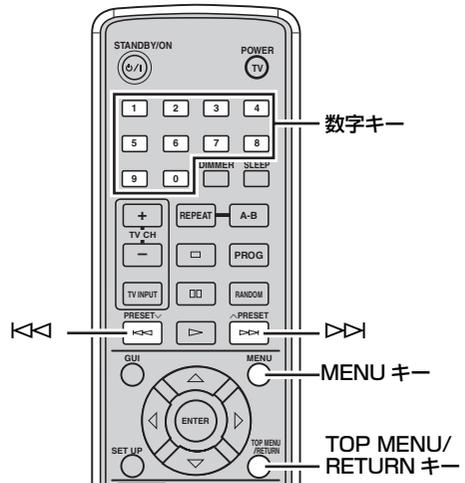
メニューの内容や操作方法はディスクにより異なります。各ディスクのメニュー内容については、ディスクに収録されているヘルプメニューやディスクのジャケットなどに記載されている説明をご参照ください。

### ■ DVD メニューを操作する [DVD-V]



### ■ ビデオ CD プレイバックコントロールを操作する [VCD]

プレイバックコントロール機能が備わっているビデオ CD を再生すると、テレビ画面にメニューが自動的に表示されます。メニューが表示されているときに、以下のキーを使用してプレイバックコントロールを操作することができます。



- MENU キー：** プレイバックコントロール機能をオンまたはオフにします。
- 数字キー：** 項目を選択します。
- ▷▷ キー：** 次の画面を表示します。
- ◁◁ キー、TOP MENU/RETURN キー：** 前の画面を表示します。

### 1 MENU キーを押します。

DVD メニューがテレビ画面に表示されます。



ディスクによっては、再生すると自動的に DVD メニューが表示される場合があります。

### 2 ◁ / ▷ / ◀ / ▶ キーを押して使用するメニュー項目を選択し、ENTER キーを押します。

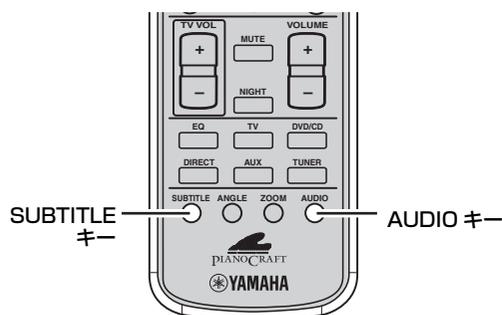
## 音声／字幕言語／アングルを選択する DVD-V

DVD 再生時に使用する音声言語、字幕言語またはアングル（表示角度）を設定します。

### ご注意

音声言語と字幕言語はマルチ言語対応 DVD でのみ設定することができます。また、選択できる言語はディスクにより異なります。詳しくはディスクに収録されているヘルプメニューやディスクのジャケットなどに記載されている説明をご参照ください。

### 音声／字幕言語を選択する



ディスクを再生中または一時停止中に AUDIO キーまたは SUBTITLE キーを押して好みの言語を選択します。

選択した音声言語または字幕言語がテレビ画面に表示されます。

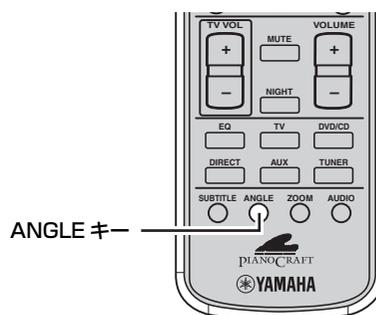
### ご注意

この機能はマルチ言語対応ディスクでのみ使用することができます。また、選択できる言語はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。

### ■ 字幕を消去する

「Off」を選択します。

### アングルを選択する



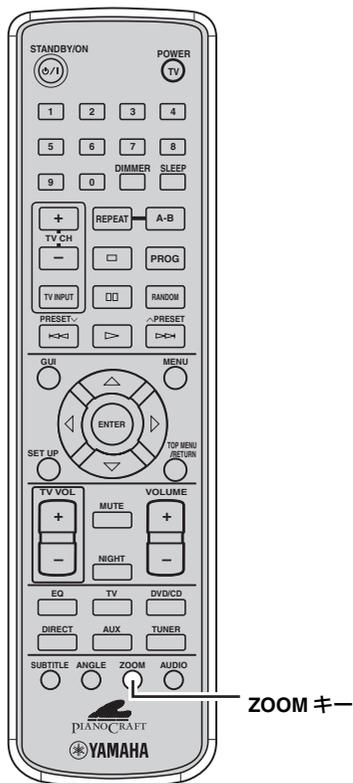
ディスクを再生中に ANGLE キーを押して好みのアングル（表示角度）を選択します。

### ご注意

この機能はマルチアングル対応ディスクでのみ使用することができます。また、選択できるアングル（表示角度）はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。

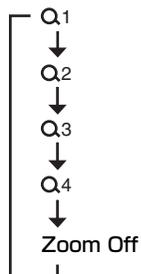
# 映像の一部を拡大表示する（ズーム） DVD-V

本機のズーム機能を使用すると映像の一部を拡大表示することができます。



**1** ディスクを再生中または一時停止中に ZOOM キーを押します。  
現在のズーム設定がテレビ画面に表示されません。

**2** ZOOM キーを押すたびにズーム設定が以下のように切り替わります。



## ■ 通常の再生表示に戻す

「Zoom Off」を選択します。

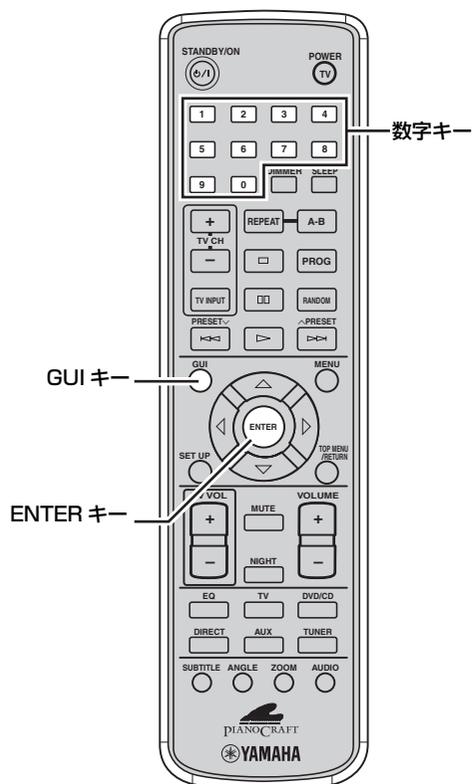


ビデオ CD、JPEG や DivX 画像にもズーム機能を使用することができます。

# GUI (グラフィカル・ユーザー・インターフェイス) を使う

グラフィカル ユーザー インターフェイス

GUI (Graphical User Interface) 画面を使用して、現在再生中のディスク情報を調べたり、経過時間を入力して再生を開始したい時間を指定したりすることができます。



## 1 ディスク再生中または一時停止中に GUI キーを押します。

GUI 画面に表示されるものには、ディスクの種類、経過時間、残り時間、タイトル/チャプター/トラック情報、アングル情報、オーディオ情報、字幕言語情報、ビットレートがあります。

DVD VIDEO	00:08:32	02:07:27
Title 1/5	CHAPTER 4/52	Angle 1/1
Audio 1/3	6ch Eng	
Preferred Sub	Off	
Bitrate	7.168Mbps	

## 2 GUI キーを再度押します。

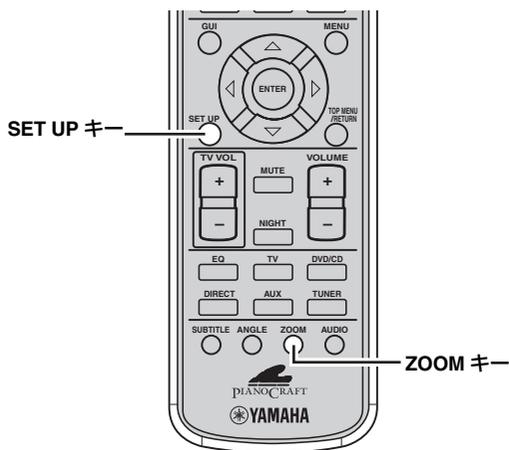
経過時間入力画面が表示されます。

## 3 数字キーを使用して、経過時間入力画面から再生を開始したい時間を入力します。ENTER キーで決定します。

数字キーを押さずに再度 GUI キーを押すと、経過時間入力画面が終了します。

## 高画質な映像を楽しむ (プログレッシブ) DVD-V

プログレッシブ機能で高画質な映像を楽しむには、プログレッシブ入力対応テレビのD端子と本機のD1/D2端子が接続されている必要があります。



### ■ プログレッシブモードにする

ディスクを停止中に SET UP キーを押してオンスクリーン画面を表示してから、ZOOM キーを押します。プログレッシブモードに切り替わり、ディスプレイに PROGRESSIVE インジケーターが点灯します。

### ■ プログレッシブモードを解除する

ディスクを停止中に SET UP キーを押してオンスクリーン画面を表示してから、ZOOM キーを押します。



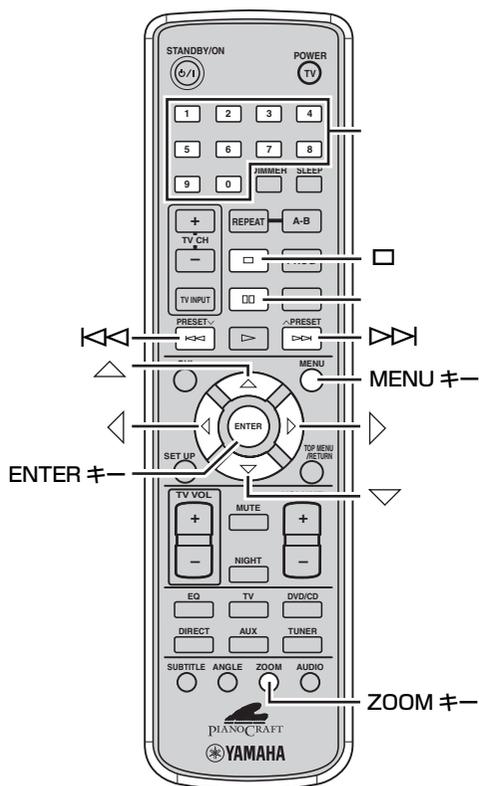
- ・プログレッシブモードを解除すると、映像信号は通常出力（インターレース信号出力）で出力されます。
- ・ディスク再生中は、プログレッシブ信号出力とインターレース信号出力を切り替えることはできません。

### ご注意

- ・本機のプログレッシブ機能と互換性のないプログレッシブ入力対応テレビを使用している場合、プログレッシブモードでのディスク再生時に画像が乱れる場合があります。この場合、プログレッシブ機能をオフにして通常出力（インターレース出力）で再生してください。ヤマハ製のプロジェクターやプラズマディスプレイをお使いの場合は、プログレッシブモードで再生することができます。
- ・プログレッシブモードを使用して縦横比が 4:3 の映像を 16:9 ワイド画面テレビで再生すると、映像がテレビ画面の横いっぱいには広がったり、字幕の一部または全部が表示されない場合があります。この場合、オンスクリーンメニュー（19 ページ）の「TV タイプ」設定を使用しているテレビのサイズにあわせてください。設定が変更できない場合は、上記「プログレッシブモードを解除する」の手順に従って、プログレッシブ機能を解除して通常出力（インターレース出力）で再生してください。
- ・プログレッシブモードでは、映像信号は D1/D2 端子からのみ出力されます。

# マルチメディアディスクを楽しむ

市販の JPEG 画像ディスクおよび CD-R や CD-RW ディスクに保存した MP3、WMA、DivX®、JPEG 画像などを本機で再生することができます。



- 1 トレイにディスクをセットします。  
テレビ画面にメニューが表示されます。

00:00:06	
ROOT	..
JPEG	Pat 1
MP3	impressions.MP3 2
WMA	one_for_rose.MP3 3
	sunny.MP3 4
Song: Impressions Artist: Baiyina	
Album: Blueprint Year: 2005	
Genre: Jazz Comment: Fast	

ディスクによっては、再生が始まるまで30秒以上かかることがあります。

- 2 △ / ▽ を押してフォルダを選択し、ENTER キーを押します。  
1つ上の階層のフォルダへ移動する際は、「..」が付いたフォルダを選択します。

- 3 △ / ▽ を押してファイルを選択し、ENTER キーを押して決定します。  
選択したファイルから順に再生が始まります。JPEG 画像を選択した場合は、選択した画像から自動的にスライドショーが始まります。スライドショーを一時停止するには 00 キーを押します。前または次のファイルを選択したい場合は、◀ / ▶ キーを押します。

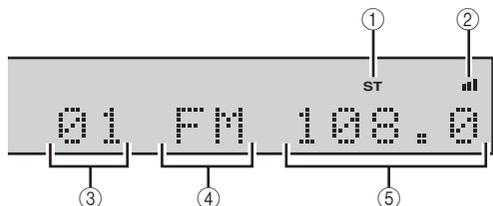


- ・数字キーを使用してファイルを選択することもできます。
  - ・JPEG ディスクによっては MENU キーを押すとサムネールが表示されます。次または前のページを選択したい場合は、◀ / ▶ キーを押します。△ / ▽ / ◀ / ▶ キーを使用して見たい画像を選択し、ENTER キーを押して全体表示にします。
  - ・△ / ◀ / ▶ キーを使用して画像を回転することもできます。
  - ・スライドショーを一時停止しているときに ZOOM キーを押すと画像を拡大表示することができます。
- △ / ▽ / ◀ / ▶ キーを使用して拡大表示する部分を移動することもできます。

# 放送局を選局する

本機では、AM/FM 放送を自動選局、手動選局、プリセット選局の3つの方法で選局することができます。お好みの方法で選局してラジオをお楽しみください。

## ディスプレイの表示内容



### ① ST インジケーター

電波の強い FM 放送局を受信しているときに点灯します。

### ② ■■ インジケーター

電波の強い放送局を受信しているときに点灯します。

### ③ プリセット番号

選択している放送局のプリセット番号が表示されます (35 ページ)。

### ④ バンド

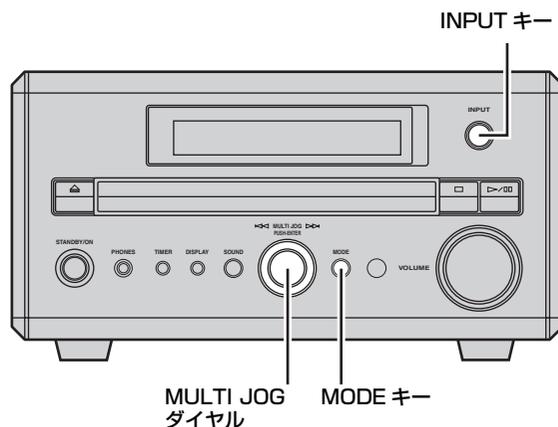
選択している放送局のバンド (AM または FM) が表示されます。

### ⑤ 周波数

選択している放送局の周波数が表示されます。



- ・リモコンの **FM** キーを押すと、FM 放送局のモノラルとステレオを切り替えることができます。
- ・手順2で MULTI JOG ダイヤルを反時計回りに回すと、高い周波数から低い周波数に向かって放送局をサーチします。



## 手動選局する

放送局の受信が良くない地域にお住まいの場合や電波の弱い放送局を受信する場合は、手動で選局することをおすすめします。

- 1 本機のINPUTキーを押してAMまたはFMを選択します。
- 2 本機のMODEキーを押してから「TUNING MODE」を選択し、MULTI JOGダイヤルを回して周波数を調節します。

## 自動選局する

早くて便利な選局方法です。ただし放送局の受信が良くない地域にお住まいの場合や電波の弱い放送局を受信する場合、聴きたい放送局が選局されない場合があります。この場合は手動選局をご使用ください。

- 1 本機のINPUTキーまたはリモコンのTUNERキーを押してAMまたはFMを選択します。  
リモコンのTUNERキーを押すたびに「AM」と「FM」が切り替わります。
- 2 本機のMODEキーを押してから「TUNING MODE」を選択し、すばやくMULTI JOGダイヤルを時計回りに回します。  
低い周波数から高い周波数に向かって電波の強い放送局をサーチし、自動的に選局します。

## 放送局を登録する（プリセット）

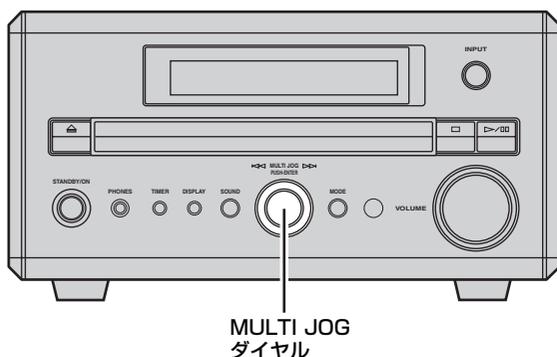
本機にはお好みの放送局（最大 AM 放送局 20 局、FM 放送局 30 局）を登録することができるプリセット機能が備わっています。放送局を登録しておく、プリセット選局を使用して簡単に放送局を選局することができます。登録には自動プリセットと手動プリセットの 2 種類があります。

### ご注意

本機への電源供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリー内容が消えてしまうことがあります。この場合は各設定を再度やり直してください。

### 放送局を自動登録する （自動プリセット）

放送局の受信が良くない地域にお住まいの場合は、右に記載の手動プリセットをご使用ください。



MULTI JOG ダイヤルを 3 秒以上長押しします。

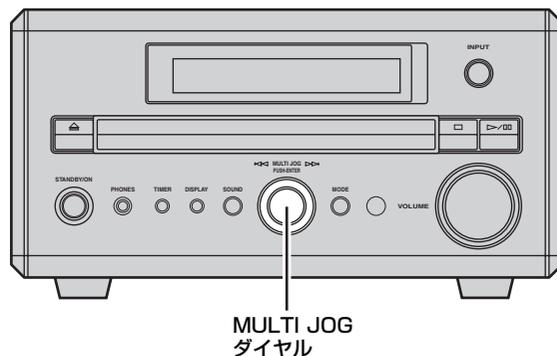
放送局の低い周波数から高い周波数へ向かって選局を開始します。放送局を登録する際、自動的にプリセット番号を割り当てます。



□ キーを押すと、現在選択されている放送局を消去することができます。また、□ キーを 3 秒以上長押しすると、現在登録されているすべての放送局を消去することができます。

### 放送局を手動登録する （手動プリセット）

放送局の受信が良くない地域にお住まいの場合は、手で放送局を登録します。



- 1 登録したい放送局を選局します。  
詳しくは「放送局を選局する」（33 ページ）をご参照ください。
- 2 MULTI JOG ダイヤルを押します。  
ディスプレイに約 5 秒間 MEMORY インジケーターが点滅します。
- 3 4 秒以内に MULTI JOG ダイヤルを回して、AM 放送の場合は 1 から 20、FM 放送の場合は 1 から 30 のいずれかのプリセット番号に選局した放送局を登録します。
- 4 再度 MULTI JOG ダイヤルを押します。

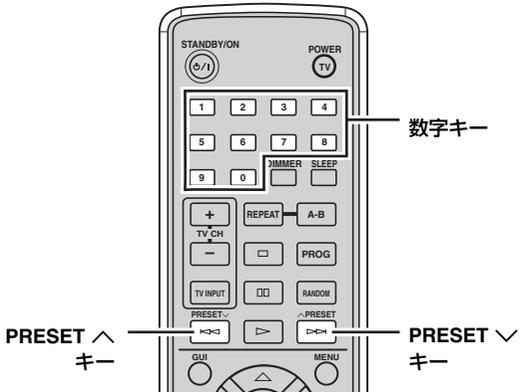


・ディスプレイに MEMORY インジケーターが点滅している間に操作を行わなかった場合、操作はキャンセルされます。操作の途中で MEMORY インジケーターが消えた場合は、手順 2 からやり直してください。

・□ キーを押すと、現在選択されている放送局を消去することができます。また、□ キーを 3 秒以上長押しすると、現在登録されているすべての放送局を消去することができます。

## 登録した放送局を選局する (プリセット選局)

お好みの放送局を自動登録 (34 ページ) または手動登録 (34 ページ) しておくと、プリセットグループと番号を指定して簡単に選局することができます。



数字キーまたは PRESET ^ / v を繰り返し押し続けて聴きたい放送局を選局します。



本機の MULTI JOG ダイヤルを使用して、放送局を選局することもできます。

## 外部機器の音声を本機で再生する

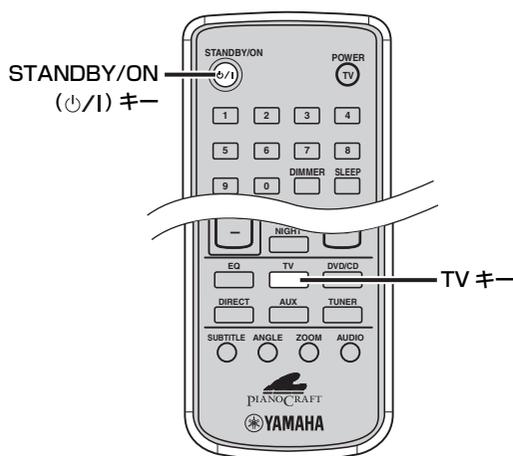
外部機器を本機に接続すると、本機の機能を使用して外部機器の音声を再生することができます。外部機器の接続方法については「テレビを接続する」(9 ページ) または「その他の機器を接続する」(11 ページ) をご参照ください。また外部機器のリモコンコードを本機のリモコンに登録しておく(40 ページ)、本機のリモコンで外部機器を操作することができます。

### ご注意

外部機器の機能については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

### テレビの音声を本機で楽しむ

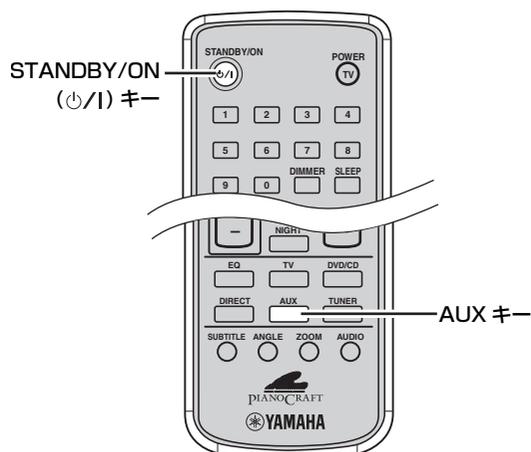
市販のステレオピンケーブルを使用して、本機の TV L/R 端子とテレビの音声出力端子を接続します。詳しくは「テレビを接続する」(9 ページ) をご参照ください。



- 1 テレビの電源を入れてから STANDBY/ON (⏻/⏿) キーを押して本機の電源を入れます。
- 2 TV キーを押します。

### その他の機器を本機で楽しむ

市販のステレオピンケーブルを使用して、本機の AUX IN L/R 端子と外部機器の音声出力端子を接続します。



- 1 外部機器の電源を入れてから STANDBY/ON (⏻/⏿) キーを押して本機の電源を入れます。
- 2 AUX キーを押します。
- 3 外部機器の再生を開始します。

## 外部 AV 機器で録画／録音する

外部レコーダーを本機に接続すると、本機で再生している映像／音声を外部レコーダーで録画／録音することができます。外部レコーダーの接続方法については、「その他の機器を接続する」(11 ページ)をご参照ください。

### ご注意

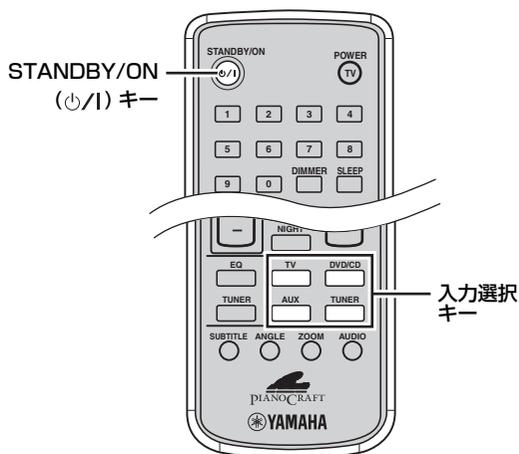
外部レコーダーの機能については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

## 本機で再生している音声を録音する

本機の DIGITAL OPTICAL OUT 端子と CD レコーダーや MD レコーダーの光デジタル入力端子を接続している場合 (11 ページ)、本機で再生している音声をそれらの機器で録音することができます。

### ご注意

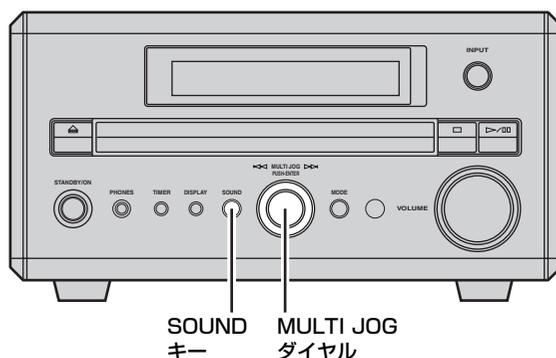
- ・チューナの音は DIGITAL OPTICAL OUT 端子には出力されません。AM や FM 放送を録音する場合は市販のステレオピンケーブルを使用して、本機の AUX OUT L/R 端子とレコーダーのアナログ入力端子を接続してください。
- ・録音を開始する前に、テスト録音を実行して正しく録音されていることをご確認ください。
- ・本機に接続した外部機器の電源を切ると再生音が歪んだり、音量が下がったりすることがあります。このような場合は外部機器の電源を入れてください。
- ・録音中に音量や音質を調整しても、録音される音声には影響しません。ただし、DVD/CD 入力で録音している際ヘッドホン端子にヘッドホンを抜き差しすると録音する音声が途切れる場合がありますのでご注意ください。
- ・DTS フォーマットで記録されたソースを再生するには DTS デコーダーを搭載した外部機器と本機を接続する必要があります。
- ・録音した音声は個人でお楽しみください。著作権者に無断で営利使用することはできません。



- 1 レコーダーの電源を入れて STANDBY/ON (S/OI) キーを押して本機の電源モードをオンにします。
- 2 入力選択キーで入力モードを選択し、録音するソースの再生を準備します。
- 3 レコーダーの録音およびソースの再生を開始します。

# サウンドを調節する

本機では BASS（低音）、TREBLE（高音）、L/R BALANCE（L/R バランス）、イコライザーモード、または DIRECT（ダイレクト機能）の設定ができます。

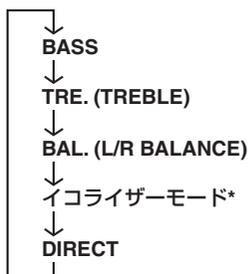


## ご注意

録音中にサウンド調節をしても、録音される音声には影響しません。

## サウンド設定を調節する

- 1 **SOUND** キーを繰り返し押し続けて調節したいサウンドの種類を選択します。  
SOUND キーを押すたびにディスプレイの表示が以下のように切り替わります。



\*イコライザーモードでは、現在選択されているモードが表示されます。

- 2 **MULTI JOG** ダイアルを回して以下のそれぞれのサウンドを調節します。

**BASS** : 低音のレベルを調節します。  
( $-10 \sim +10$  dB)

**TREBLE** : 高音のレベルを調節します。  
( $-10 \sim +10$  dB)

**L/R BALANCE** :  
スピーカーのバランスを調節します。  
( $L+6$  dB  $\sim$   $R+6$  dB)

**イコライザーモード** :  
ROCK (ロック)、POP (ポップ)、JAZZ (ジャズ)、  
CLASSIC (クラシック) FLAT (フラット)の中から選択できます。

**DIRECT** : 本機のダイレクト機能をオンまたはオフにします。

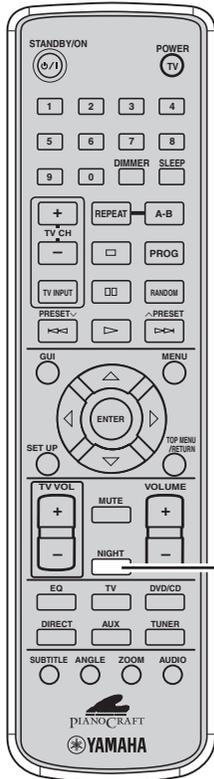
- 3 **MULTI JOG** ダイアルを押します。



- ・リモコンの EQ キーを使用してイコライザーモードを設定することもできます。
- ・リモコンの DIRECT キーを使用してダイレクト機能のオン/オフを切り替えることもできます。

## ナイトリスニングモード

ナイトリスニングモードをオンにすると、夜間など小さな音量で再生する際、大きな効果音を抑えて会話やヴォーカル音声などははっきりと聞こえるように再生することができます。



NIGHT キー

NIGHT キーを押します。

NIGHT キーを押すたび、ナイトリスニングモードのオン/オフが以下のように切り替わります。



### ■ ナイトリスニングモードを解除する

NIGHT キーを押して「NIGHT OFF」を選択します。

# 本機のリモコンで外部機器を操作する

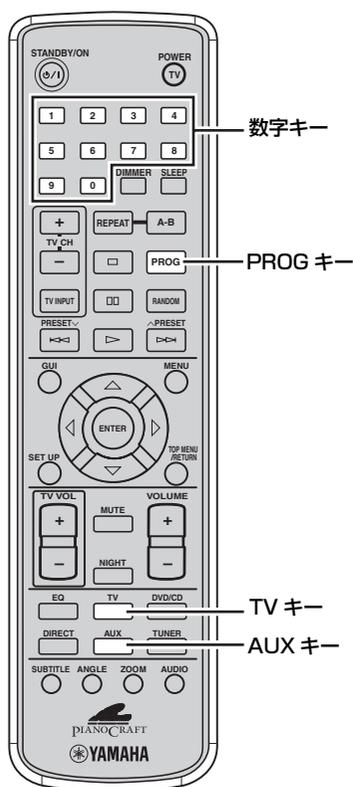
外部機器のリモコンコード（51 ページ）を登録すると、本機のリモコンを使用して本機に接続したテレビ、ケーブルテレビチューナー、衛星デジタルチューナーなどの外部機器を操作することができます。

## ご注意

外部機器の種類によっては、本機のリモコンで一部の機能を操作できない場合やまったく操作できない場合があります。このような場合は外部機器に付属しているリモコンをご使用ください。

## リモコンコードを登録する

TV キーにはテレビのリモコンコードを、AUX キーにはケーブルテレビチューナーまたは衛星デジタルチューナーのリモコンコードを登録することができます。



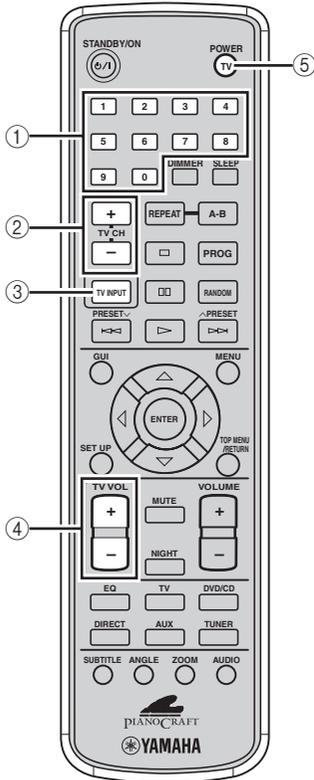
- 1 TV キーまたは AUX キーを押して、本機のリモコンを使用して操作したい外部機器の入力ソースを選択します。
- 2 PROG キーを押しながら TV キーまたは AUX キーを押します。PROG キーを押したまま、数字キーを使用して 3 桁のリモコンコードを入力します。詳しくは「リモコンコード一覧」（51 ページ）をご参照ください。
- 3 「操作可能な機能」（41 ページ）を参照し、登録したいいずれかの操作を実行します。外部機器が正しく機能すれば登録完了です。正しく機能しない場合はリモコンコードを間違っ  
て入力している可能性があります。本機に接続している外部機器のリモコンコードを確認後、手順 1～手順 2 を再度実行してください。

## ご注意

- ・リモコンの電池が切れると、約 2 分後にリモコンのメモリー内容が消去されます。この場合、必要に応じてリモコンコードを再登録してください。電池が切れて 2 分に満たない場合でも、電池の交換中にリモコンのキーを押すと、設定が消えてしまうことがありますので、ご注意ください。
- ・複数のリモコンコードが記載されている場合は、お使いの機器に一致するものが見つかるまで順にお試しください。

## 操作可能な機能

「リモコンコードを登録する」(40 ページ)の手順 1 を実行すると、登録した外部機器の機能を本機のリモコンで操作できるようになります。



### テレビの操作 (TV キー)

① 数字キー

テレビのチャンネルを入力します。

② <sup>チャンネル</sup> TV CH +/- キー

テレビのチャンネルを切り替えます。

③ <sup>インプット</sup> TV INPUT キー

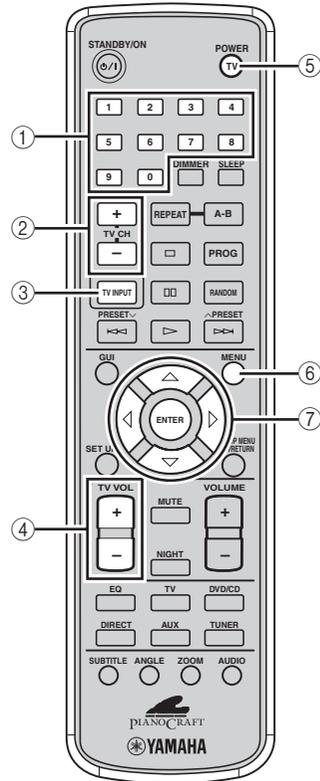
テレビの入力を切り替えます。

④ <sup>ボリューム</sup> TV VOL +/- キー

テレビの音量を調節します。

⑤ <sup>パワー</sup> POWER TV キー

テレビの電源モード (オン/スタンバイ) を切り替えます。



### ケーブルチューナー／衛星デジタルチューナーの操作 (AUX キー)

① 数字キー

テレビのチャンネルを入力します。

② <sup>チャンネル</sup> TV CH +/- キー

テレビのチャンネルを切り替えます。

③ <sup>インプット</sup> TV INPUT キー

テレビの入力を切り替えます。

④ <sup>ボリューム</sup> TV VOL +/- キー

テレビの音量を調節します。

⑤ <sup>パワー</sup> POWER TV キー

ケーブルチューナーまたは衛星デジタルチューナーの電源モード (オン/スタンバイ) を切り替えます。

⑥ <sup>メニュー</sup> MENU キー

オンスクリーンメニューを表示します。(衛星デジタルチューナーのみ)

⑦ <sup>エンター</sup> △、▽、◀、▶、ENTER キー

オンスクリーンメニューを操作する際に使用します。

## 故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

### 全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードが正しくコンセントに接続されていることをご確認ください。(12 ページ)
	スピーカーケーブルがショートした。	スピーカーケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源モードをスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに再度接続し、電源モードをオンにしてください。
スピーカーから音が出ない	音量が最小に設定されている。	音量を調節してください。(15 ページ)
	消音機能を使用している。	消音を解除してください。(15 ページ)
	入力が正しく選択されていない。	正しい入力を選択してください。(14 ページ)
	ケーブルが正しく接続されていない。	すべてのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。(7 ページ)
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスクおよび再生しようとしているディスクの種類をご確認ください。(21 ページ)
	DTS ソースを再生している。	本機を DTS デコーダー対応の機器とデジタル接続し、オンスクリーンメニューの「デジタルアウト」出力の設定を「RAW」に変更してください。(12 ページ、20 ページ)
テレビ画面に画像が表示されない	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。(7 ページ)
音が突然出なくなる	スリープタイマー (17 ページ) を設定している。	電源モードをオンにして再生しなおしてください。
片側のチャンネルの音がほとんど出ない	ケーブルが正しく接続されていない。	すべてのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。(7 ページ)
音量が大きくなる／音が歪む	本機の出力端子に接続している機器の電源が入っていない。	本機の出力端子に接続している機器の電源を入れてください。
本機で再生している FM/AM 放送を外部レコーダーで録音できない	FM/AM 放送をデジタル録音しようとしている。	アナログ録音してください。(11 ページ、37 ページ)
本機が正常に作動しない	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源モードをスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに再度接続し、電源モードをオンにしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。
本機に接続した AV 機器で再生しているソースを外部レコーダーで録音できない	アナログソースをデジタル録音しようとしている。	適切なソースを入力してください。
時計などの設定内容が消えた	電源コードがコンセントから抜けていたり、外部タイマーにより電源が切られていた場合など、本機への電源供給が 1 週間以上遮断されていた。	電源供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された内容が消えてしまうことがあります。この場合は各設定を再度やり直してください。

## リモコンの操作

症状	原因	対策
リモコンでDVDレシーバー本体を操作できない	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、リモコンを使用する(13ページ)をご参照ください。
	DVDレシーバー本体のリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。	照明またはDVDレシーバー本体の向きを変更してください。
	リモコンの操作モードが正しく選択されていない。	目的に応じてリモコンの操作モードを変更してください。(13ページ)
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。(13ページ)
リモコンで本機に接続した外部AV機器を操作できない	システムコンポーネントをリモコン操作しようとしている。	本機のリモコンでシステムコンポーネントを操作することはできません。各機器に付属しているリモコンをご使用ください。
	リモコンコードが正しく設定されていない。	ご使用の機器のリモコンコードを確認後、リモコンコードを再度登録してください。また外部機器の機種によっては、本機のリモコンで一部またはすべての機能を操作できない場合があります。この場合は各機器に付属しているリモコンをご使用ください。

## ディスクの再生

症状	原因	対策
特定の機能がはたらかない	ディスクの種類により本機の機能に対応していない場合があります。	
▷ キーを押しても再生が始まらない(すぐに停止する)	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていない。	ディスクを正しくセットしてください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。(21ページ)
音声/字幕言語を切り替えられない	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を1、2時間ほど放置してから再度操作してください。
	マルチ言語に対応していないディスクを使用している。	音声/字幕言語は、マルチ言語対応ディスクでのみ切り替え可能です。ディスクに収録されているヘルプメニューやディスクのジャケットに記載されている説明などを参照し、ご使用のディスクがマルチ言語に対応しているかどうかご確認ください。
字幕が表示されない	字幕言語の設定で「OFF」が選択されている。	表示する字幕言語を選択してください。(28ページ)
	字幕データが記録されていないディスクを使用している。	字幕は、字幕対応ディスクでのみ表示可能です。ディスクに収録されているヘルプメニューやディスクのジャケットに記載されている説明などを参照して、ご使用のディスクが字幕表示に対応しているかどうかご確認ください。
	A-Bリピート(26ページ)を設定している。	A-Bリピートを設定している場合、選択範囲以外で字幕が表示されないことがあります。この場合はA-Bリピートを解除してください。(26ページ)

ディスクアングル（表示角度）を切り替えられない	マルチアングルに対応していないディスクを使用している。	ディスクアングルは、マルチアングル対応DVDでのみ切り替え可能です。ディスクに収録されているヘルプメニューやディスクのケースに記載されている説明などを参照して、ご使用のディスクがマルチアングルに対応しているかどうかご確認ください。
DVDをビデオデッキで録画できない	コピープロテクトがかかっているDVDを録画しようとしている。	ほとんどの場合、市販のDVDにはコピープロテクトがかかっています。これらのDVDを複製することはできません。
画質が良くない	早戻し/早送り再生をしている。	早戻し/早送り再生をしている際に、画像が多少乱れることがあります。故障ではありません。
テレビ（モニター）に映像が正常に表示されない	オンスクリーンメニューの「TVタイプ」が使用しているテレビの仕様と一致していない。	「TVタイプ」の設定をやり直してください。設定が変更できない場合は、プログレッシブ機能をオフにして通常出力（インターレース出力）に戻してください。（31 ページ）
	プログレッシブ入力に対応していないテレビでプログレッシブ機能を使用している。	本機のプログレッシブ機能をオフにして通常出力（インターレース出力）に戻してください。（31 ページ）
画面サイズがおかしい	オンスクリーンメニューの「TVタイプ」が使用しているテレビのサイズと一致していない。	オンスクリーンメニューで「TVタイプ」を変更してください。（19 ページ）
映像の一部が二重にぶれて表示される	映像ソフトそのものの編集方法や素材が本機のプログレッシブ機能に対応していない。	本機のプログレッシブ機能をオフにして通常出力（インターレース出力）に戻してください。（31 ページ）
ディスクが勝手にイジェクトされる（ディスクトレイが開く）	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。（21 ページ）
ディスクをディスクトレイにセットしてもディスプレイに「No Disc」というメッセージが表示されたままになりディスクが認識されない	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていない。	ディスクを正しくセットしてください。

## 放送局の受信

### ■ FM/AM 放送局の受信

症状	原因	対策
プリセット選局ができない (35 ページ)	本機のメモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再度登録してください。
プリセット選局などの設定内容が消えた	電源コードがコンセントから抜けていたり、外部タイマーにより電源が切られていた場合など、本機への電源供給が1週間以上遮断されていた。	電源供給が1週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された設定内容が消えてしまうことがあります。この場合は各設定を再度やり直してください。

### ■ FM 放送局の受信

症状	原因	対策
ステレオ放送になるとたくさんの雑音が入る	FM 簡易アンテナが正しく接続されていない。	FM 簡易アンテナが正しく接続されていることをご確認ください。(10 ページ)
	選択している FM 放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の FM 放送局の受信が良くない。	手動選局で雑音を軽減するか (33 ページ)、別売りの屋外アンテナをご使用ください。屋外アンテナの入手方法については、お近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。
屋外アンテナを使用しても受信感が悪い (音が歪むなど)	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。
自動選局ができない (33 ページ)	FM 放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の FM 放送局の受信が良くない。	手動選局で放送局を選局するか (33 ページ)、別売りの屋外アンテナをご使用ください。屋外アンテナの入手方法については、お近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

### ■ AM 放送局の受信

症状	原因	対策
自動選局ができない (33 ページ)	AM ループアンテナが正しく接続されていない。	AM ループアンテナが正しく接続されていることをご確認ください。(10 ページ)
	AM 放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の AM 放送局の受信が良くない。	手動選局で放送局を選局してください。(33 ページ)
たくさんの雑音が入る	空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電気器具などの雑音を拾っている。	この種類の雑音を完全に除去するのは困難です。屋外アンテナを使用して、アース線を正しく接続すると雑音が軽減できる場合があります。
	本機とテレビの位置が近すぎる。(特に夕方～夜になると雑音が入る場合)	本機をテレビから離して設置してください。

# ディスクについて

本機は下記のディスクが再生できます。本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、これ以外のディスクは使用しないでください。

## 本機で再生できる映像ディスク

ディスクの種類	ディスクのロゴマーク
DVD ビデオ	 
SVCD (スーパービデオ CD)	
ビデオ CD	市販のビデオ CD  
	  マイビデオ CD MPEG 形式の動画ファイルを CD-R や CD-RW に書き込んで、ビデオ CD として再生できます。

## DVD のリージョンコードについて

一般の DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクにはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では右表のディスクが再生できます。

詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向け	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		  または複数のリージョンコードに 2 が入っているディスク

## 本機で再生できる音楽ディスク

ディスクの種類	ディスクのロゴマーク
音楽 CD (コンパクトディスク デジタルオーディオ)	
	  マイ音楽 CD ご自分で書き込んだ CD-R や CD-RW を音楽 CD として再生できます。MP3 形式の音声も再生できます。



ディスクのロゴマークは、ディスクやディスクのジャケットに印刷されています。

## ディスクに関するご注意

- 本機は、CD-R、CD-RW (MP3、WMA、Kodak、JPEG 対応)、DVD+R、DVD+RW (ビデオフォーマットのみ)、DVD-R、DVD-RW (DivX® 対応) のディスク再生に対応しています。
- 2層ディスクについてはサポート対象外になります。
- ファイナライズされていない CD-R や CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R ディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 本機は 8 cm ディスクには対応していません。
- 信頼できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。



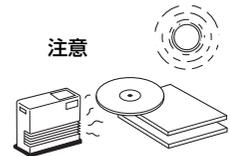
- DVD ビデオ、ビデオ CD の中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。詳しくはディスクのジャケットなどの説明をご参照ください。
- 左記ロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。
- 記録方法 (PC 環境やソフトウェアなど) やディスクの状態 (傷やそりがあるなど) によっては再生できない場合があります。

## ディスクの取扱いについて

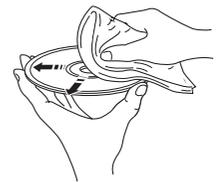
- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- 再生時以外はディスクをトレイに入れたままにしないでください。
- ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。



注意



- ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。



# 用語解説

## 音声フォーマット

### ■ ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは、完全に独立したマルチチャンネル音声再生できるデジタルサラウンドシステムです。全帯域の音声成分を持つフロントの3チャンネル（メインL/R、センター）と、サラウンドのステレオ2チャンネル、低音域専用のLFEチャンネルの合計5.1チャンネルで構成されます。サラウンドがステレオ2チャンネルで収録されているため、音の移動感、木々のざわめきや波の音などの繊細な環境音も明確に再現できます。本機はマルチチャンネル音声を2チャンネルに変換しますので手軽にドルビーデジタルで記録されたソフトを楽しむことができます。

### ■ リニア PCM (LPCM)

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～192kHz/24bitで記録されているので、CDよりも高音質で再生できます。また、この信号を情報量を損なうことなく圧縮したものをパケットPCM (P.PCM) といいます。

## オーディオ関連

### ■ サンプリング周波数／量子化ビット数

アナログ音声信号をデジタル信号化する際に、1秒間にサンプリング（信号の大きさを数値に置き換えること）を行う回数をサンプリング周波数といい、音の大きさを数値化するときのきめの細かさを量子化ビット数といいます。再生できる周波数帯は「サンプリング周波数」で決まり、音量の差を表わすダイナミックレンジは「量子化ビット数」で決まります。原理的には、サンプリング周波数が高いほど再生可能な音域が広がり、量子化ビット数が大きいほど音の大きさの変化をきめ細かく再現できることとなります。

### ■ ダイナミックレンジ

機器が出す雑音にうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

### ■ トラック (CD/ビデオCD)

CD、ビデオCDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

## ビデオ関連

### ■ NTSC

NTSCは日本を含むアジア、北米や中央アメリカ、南米で多く採用されている映像方式です。走査線は525本あり、毎秒30フレームの画像を送る方式です。

### ■ PAL

PALはイギリスや西ヨーロッパのほか、南米や中東、アジア、アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸国などで採用されている映像方式です。走査線は625本で、毎秒25フレームの画像を送る方式です。

### ■ インターレース

一画面の走査線を奇数段、偶数段にわけ、交互に表示する走査方式です。通常のテレビに使われている走査方式です。

### ■ コンポーネントビデオ信号

映像信号を「輝度を表す信号：Y信号」と「色を表す信号：Pb/CbおよびPr/Cr信号」の3系統に分けて伝送します。それぞれの信号を独立して伝送するため、色をより忠実に再現できます。また、コンポーネントビデオ信号は色信号から輝度信号を引いているので色差信号とも呼ばれます。

### ■ タイトル、チャプター (DVD ビデオ)

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられています。それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

### ■ デコーダー

ドルビーデジタルやDTSのビットストリーム信号を5.1chや2chなどの音声に戻す装置のことです。この処理をデコードといいます。

### ■ フィルム素材／ビデオ素材

DVDソフトの映像情報は、一般的に以下の2種類があります。

#### ・ フィルム素材

映像情報が24コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています。)最近では30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。

#### ・ ビデオ素材

映像情報が30コマ/秒で記録されているもの。本機は、DVDソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

### ■ プログレッシブ

一画面のすべての走査線を、一度に表示する走査方式です。走査線を奇数段、偶数段にわけ、交互に表示するインターレースに比べ、ちらつきの少ない、滑らかな映像を映し出すことができます。

## 著作権とロゴマーク

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本製品は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。また、分解したり、改造することも禁じられています。



ドルビーラボラトリーズからの実施権により製造されています。「ドルビー」及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTSおよびDTS Digital Outはデジタルシアターシステムズの登録商標です。

MPEG-1 Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。



DivX、DivX CertifiedおよびそのロゴはDivX Networks Incの商標であり、ライセンス承諾を得て使用されます。

# 主な仕様

## アンプ部

- ・ L/R
  - 定格出力 (20 kHz LPF)  
(1 kHz, 全高調波歪率 0.18 %, 6 Ω) ..... 20 W + 20 W
  - 実用最大出力 (20 kHz LPF)  
(1 kHz, 全高調波歪率 10%, 6 Ω) ..... 30 W + 30 W
  - 全高調波歪率  
AUX など ..... 0.08 % 以下
  - 入力感度 / インピーダンス  
AUX など ..... 300 mV / 47 k Ω
  - 周波数特性  
AUX など ..... 10 Hz ~ 22 kHz ± 3 dB
  - S/N 比 (20 kHz LPF, IHF-A ネットワーク,  
入力シャット) / AUX (0 dB 入力時) ..... 93 dB

## ビデオ部

- ・ ビデオ入力信号
  - ビデオ ..... 1 Vp-p / 75 Ω
  - コンポーネント ..... 1 Vp-p / 75 Ω (Y)  
0.7 Vp-p / 75 Ω (Pb, Pr)
  - S/N 比 ..... 72 dB

## FM チューナー部

- ・ FM 受信周波数範囲 ..... 76.0 ~ 108.0 MHz
- ・ S/N 比 (モノラル) ..... 75 dB
- ・ 感度 (S/N 20dB) ..... 1.0 μV

## AM チューナー部

- ・ AM 受信周波数範囲 ..... 522 ~ 1629 kHz
- ・ S/N 比 (モノラル) ..... 32 dB
- ・ 感度 (S/N 20dB) ..... 700 μV

## CD/DVD 部

- ・ S/N 比 ..... 95 dB
- ・ 全高調波歪率 ..... 0.007 %
- ・ セパレーション ..... 90 dB

## オーディオ部

- ・ ドルビーデジタル / MPEG (DTS を除く)
- ・ PCM: 16 ビット
- ・ LPCM: 20/24 ビット
  - Fs 44.1, 48 kHz 対応 / 88.2, 96 kHz ダウンミックス対応
- ・ MP3: 32 ~ 320 kbps 16 ~ 48 kHz サンプリングレート
- ・ WMA: 192 kbps まで (32 kbps を除く)  
32, 44.1, 48 kHz サンプリングレート
- ・ WMA/MP3/VBR (モノラル / ステレオ)

## 総合

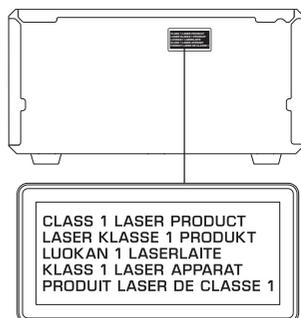
- ・ 電源電圧 / 周波数 ..... AC 100 V, 50/60 Hz
- ・ 消費電力 ..... 30 W
- ・ 待機時消費電力 ..... 0.9 W
- ・ 外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き) ..... 210 x 112.8 x 295.9 mm
- ・ 質量 ..... 2.65 kg
- ・ 動作温度範囲 ..... +5 ~ +35 °C
- ・ 動作湿度範囲 ..... 5 ~ 90% (結露しないこと)

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

## レーザー

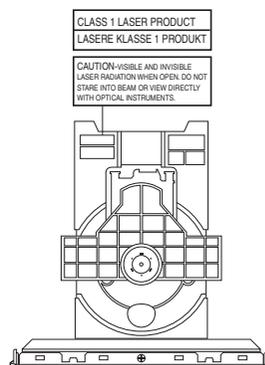
タイプ	半導体レーザー
波長	650 nm (DVD) 790 nm (VCD/CD)
出力	1.45 mW (DVD) 1.13 mW (VCD/CD)
ビーム広がり	60 度

クラス 1 レーザ製品



## ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



## リモコンコード一覧

### ご注意

- 外部機器の機種によっては、本機のリモコンで一部の機能を操作できない場合やまったく操作できない場合があります。このような場合は各機器に付属しているリモコンをご使用ください。
- 複数のリモコンコードが記載されている場合は、お使いの機器に一致するものが見つかるまで順にお試しください。

### テレビ

メーカー名	リモコンコード					
ヤマハ	299	292	242	285	287	253
アイワ	294	276	283	284		
NEC	297	252	282			
サンヨー	295	233	279	272	273	274
シャープ	292	239	232	213		212
ソニー	263	214				
東芝	292	226	267	215		
ビクター	296	246	247	286		
日立	297	239	242	243	285	
パイオニア	226	235	254	255	268	
バイデザイン	201	202				
パナソニック	234	235	236	253	288	211
富士通	289					
フナイ	277	278				
三菱	299	297	259	287		

### ケーブルテレビチューナー

メーカー名	リモコンコード					
ソニー	756	757				
パイオニア	748	785	747			
パナソニック	744	745	746	747	783	784
日立	722					

### 衛星デジタルチューナー

メーカー名	リモコンコード	
ソニー	832	835
東芝	833	836
パナソニック	826	829
ビクター	822	
日立	824	

### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。



【音のエチケット】

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

### ■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル (全国共通)  0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。  
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)  
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

## ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

### ■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル (全国共通)  0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)  
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

#### 修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)  
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50  
ヤマハセンター内  
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内  
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2  
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F  
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28  
オーク江坂ビルディング2F  
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX (092) 472-2137

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

### ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### ● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご希望により有料にて修理いたします。

### ● 修理料金の仕組み

**技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

**部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

**出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。  
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

### ● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

### ● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

\* このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

## 永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

### こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。